



CDR-HD1000

CDレコーダー

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO
Recordable

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO
ReWritable

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO
TEXT



このたびは、ヤマハCDレコーダーCDR-HD1000をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

CDR-HD1000の優れた性能を十分に発揮させるとともに、未永くご愛用いただくために、この取扱説明書をご使用の前に必ずお読みくださいますようお願いいたします。

お読みになったあとは、保証書とともに保管してください。

取扱説明書

ご使用前に必ずお読みください。

安全上のご注意(安全に正しくお使いいただくために)

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

この「安全上のご注意」に書かれている内容には、お客様が購入された製品に含まれないものも記載されています。

絵表示の例



気をつけなければならない内容を表しています。
たとえば△は「感電注意」を示しています。



してはいけない行為を表しています。
たとえば⊘は「分解禁止」を示しています。



必ずしなければならない行為を表しています。
たとえば●は「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示しています。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を迫る可能性が想定される内容を示しています。



プラグを抜く

下記の場合には、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- 異常なおいや音がある。 ● 煙が出る。
 - 内部に水や異物が混入した。
- そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。



禁止

電源コードを傷つけない。

- 重いものを上に載せない。 ● ステープルで止めない。 ● 加工をしない。
 - 熱器具には近づけない。 ● 無理な力を加えない。
- 芯線がむき出しのまま使用すると、火災や感電の原因となります。



水ぬれ禁止

本機を下記の場所には設置しない。

- 浴室・台所・海岸・水辺 ● 加湿器を過度にきかせた部屋
 - 雨や雪、水がかかるところ
- 水滴の混入により火災や感電の原因となります。



接触禁止

雷がなりはじめたら電源プラグには触れない。

感電の原因となります。



分解禁止

分解・改造は厳禁。キャビネットは絶対に開けない。

火災や感電の原因となります。
修理・調整は販売店にご依頼ください。



禁止

放熱のため本機を設置する際には：

- 布やテーブルクロスをかけない。 ● じゅうたん・カーペットの上には設置しない。
 - おおむけや横倒しには設置しない。 ● 通気性の悪い狭いところへは押し込まない。
- (少なくとも本機の左右20cm、上30cm、背面10cm以上離して設置してください。)
- 本機の内部に熱がこもり火災の原因となります。



禁止

電池を充電しない。

電池の破裂や液もれにより火災やけがの原因となります。

**警告**

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を迫る可能性が想定される内容を示しています。



禁止

本機を落としたり、本機が破損した場合には、必ず販売店に点検を依頼してください。

そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



禁止

AC100V 50/60Hz以外の電源電圧では使用しない。

火災や感電の原因となります。



必ず行う

電源プラグのゴミやほこりは定期的にとり除く。

ほこりがたまったまま使用を続けるとプラグがショートして火災や感電の原因となります。



禁止

本機のディスクの挿入口や、背面にある放熱用の通風孔にもものを入れたり、落としたりしない。

火災や感電の原因となります。



禁止

本機の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・ろうそくなどを置かない。

- 水や異物が中に入ると、火災や感電の原因となります。
- 接触面が経年変化を起こし、本機の外装を損傷する原因となります。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。



禁止

不安定な場所や振動する場所には設置しない。

本機が落下や転倒してけがの原因となることがあります。



禁止

直射日光のあたる場所や温度が異常に高くなる場所(暖房機のそばなど)には設置しない。

本機の外装が変形したり内部回路に悪影響が生じて、火災の原因となることがあります。



必ず行う

電源を入れる前や再生を始める前には、アンプの音量(ボリューム)を最小にする。

突然大きな音が出て聴力障害等の原因となることがあります。



プラグを抜く

長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

火災や感電の原因となることがあります。



接触禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となることがあります。



禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードをひっぱらない。

コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。



プラグを抜く

移動をするときには電源スイッチを切り、すべての接続をはずす。

- 接続機器が落下や転倒してけがの原因となることがあります。
- コードが傷つき火災や感電の原因となることがあります。



禁止

長時間音が歪んだ状態で使用しない。

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



禁止

大きな音で長時間ヘッドホンを使用しない。

聴力障害の原因となることがあります。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。



必ず行う

電池は極性表示(プラス⊕とマイナス⊖)に従って、正しく入れる。

間違えると破裂や液もれにより火災やけがの原因となることがあります。



禁止

指定以外の電池は使用しない。また種類の異なる電池や新しい電池と古い電池をいっしょに混ぜて使用しない。

破裂や液もれにより火災やけがの原因となることがあります。



禁止

電池と金属片をいっしょにポケットやバッグなどに入れて携帯、保管しない。

電池がショートし破裂や液もれにより火災やけがの原因となることがあります。



禁止

電池を加熱・分解したり、火や水の中へ入れない。

破裂や液もれにより火災やけがの原因となることがあります。



禁止

ほこりや湿気の多い場所に設置しない。

ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因となることがあります。



プラグを抜く

手入れをするときには、必ず電源プラグを抜いて行う。

感電の原因となることがあります。



注意

本機はデジタル信号を扱います。他の電気製品に障害をあたえるおそれがあります。

それらの製品とはできるだけ離して設置してください。



禁止

ディスクの挿入口には手を入れない。

本機のメカニズムに手を引き込まれ、けがの原因となることがあります。



必ず行う

電源プラグはコンセントに根もとまで確実に差し込む。

差し込みが不十分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積して発熱や火災の原因となることがあります。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。



禁止

電源プラグを差し込んだときゆるみがあるコンセントは使用しない。

感電や発熱・火災の原因となることがあります。



禁止

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しない。

ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。



注意

環境温度が急激に変化したとき、本機に結露が発生することがあります。

正常に動作しないときには、電源を入れたまましばらく放置してください。



禁止

薬物厳禁

ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また接点復活剤を使用しない。

外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。



注意

年に一度くらいは内部の掃除を販売店にご依頼ください。

ほこりがたまったまま使用を続けると、火災や故障の原因となることがあります。



禁止

レーザー光源をのぞき込まない。

レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。

- デジタルオーディオインターフェース規格は民生用と業務用では異なります。本機は民生用のデジタルオーディオインターフェースに接続する目的で設計されています。業務用のデジタルオーディオインターフェース機器との接続は、本機の故障の原因となるばかりでなくスピーカーをいためる原因となることがあります。
- 本機はハードディスク (HDD) を搭載した精密機器ですので、振動や衝撃を与えないよう、取扱いには十分にご注意ください。誤った取扱いをすると、HDD 上のデータの破損および HDD の故障の原因となることがあります。

特長

- 最大10倍速のCDからHDDへのコピー
- 最大8倍速のHDDからCD-Rへのコピー
- 最大4倍速のHDDからCD-RWへのコピー
- CDテキスト対応

本機には、長時間の録音が可能で大容量のハードディスク(HDD)が内蔵されています。複数のCDをHDDにコピーしておけば、それらからお気に入りのディスクを選択して、再生することができます。またHDDに録音された様々な音源は多彩に編集することが可能です。編集された音源をCD-RまたはCD-RWにコピーすれば、本機一台で簡単にオリジナルCDを作成できます。

目次

はじめに

安全上のご注意	1
ディスクについて	2
準備	
付属品の確認	4
リモコンについて	5
接続する	6
各部の名称と機能	
フロントパネル	7
リモコン	8
ディスプレイ	9
ディスプレイの切り替え	10
デジタル録音のルールとシステムについて	
デジタル録音のルール	11
本機のシステム	11

録音・コピー

録音・コピーについて	
使用できる記録媒体	13
録音・コピーの種類	13
録音・コピーを始める前に	13
録音の基本操作	
外部機器からHDDへの録音	14
外部機器からCD-RまたはCD-RWへの録音	15
入力ソースを選択する	17
録音レベルを調節する	17
ファイナライズする	19
録音の応用操作	
録音先のディスクを選択する	20
録音モードを設定する	20
録音中に曲番をつける(マニュアルマーキング)	21
コピーの基本操作	
CDからHDDへのコピー	22
HDDからCD-RまたはCD-RWへのコピー	24
CDの複製(Duplicate)	26
コピーの応用操作	
コピー先のディスクを選択する	28
コピーモードを設定する	28
コピーメニューを設定する	29

編集

アルバム編集について	31
トラック編集について	37
ディスク編集について	46
アンドゥ処理(Undo)	50
CD-RWの消去	51

再生

再生の基本操作	
CDの再生	52
HDDの再生	52
聞きたい部分を探す(サーチ)	53
聞きたいグループを探す(グループスキップ)	53
聞きたい曲を探す(トラックスキップ)	54
再生の応用操作	
プレイスタイルを設定する	55
順不同に聞く(ランダム再生)	56
聞きたい曲を繰り返し聞き(1曲リピート再生)	56
すべての曲を繰り返し聞き(全曲リピート再生)	57
曲の最初の部分だけを聞く(イントロ再生)	57
聞きたい曲を好きな順に聞く(アルバム再生)	58
ブックマークプレイ	58
ヘッドホンを使って聞く	58

ご参考

その他	
HDDユーティリティについて	59
システムユーティリティについて	60
DAC(デジタル/アナログ変換)モードについて	62
メッセージ表示一覧	63
故障かな?と思ったら	64
仕様	65
ヤマハサービスネットワーク	裏表紙

ディスクについて

■ 本機で録音できるディスクについて

本機の性能を十分生かすために、信頼できるCD-RまたはCD-RWをご使用ください。

本機で録音する場合、下記のマークが付いたディスクを必ずご使用ください。



FOR CONSUMER
FOR CONSUMER USE
FOR MUSIC USE ONLY

■ 録音用ディスクについて

- CD-Rディスクは一度のみ録音が可能で、録音したデータの消去はできません。
- CD-RWディスクは録音、データの消去、新たな録音が何度でも可能です。

■ 本機で録音できないディスクについて

- 上記のマーク／表示が付いていないディスク
- パソコン用のデータを記録するためのディスク
- 「FOR PROFESSIONAL USE ONLY」と表示のあるプロフェッショナル用のディスク

■ CD-Rのファイナライズについて

CD-Rは録音終了後、一般のCDプレーヤーで再生できるようにするために、ファイナライズが必要です。

ファイナライズすると、TOC (Table of Contents) がディスクに書き込まれます。

ファイナライズが終了すると、一般のCDプレーヤーでCD-Rを再生できるようになります。

また、一度ファイナライズが終了したCD-Rに、さらに追加して録音することはできませんので、ご注意ください。

ファイナライズ済みのCD-Rでも、CDプレーヤーによっては再生できない場合があります。

ファイナライズについて、詳しくはP.19をご覧ください。

■ データ消失などの責任について

本機の使用に伴い、HDD、CD-RまたはCD-RWに書き込んだデータの消失、破損などお客様に生じた逸失利益、特別な事情から生じた損害(損害発生につき弊社が予見、または予見し得た場合を含みます)および第三者からお客様に対してなされた損害賠償請求に基づく損害については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 本機で再生できるディスクについて

前記のマーク／表示のついたCD-R、CD-RW、下記のマークが付いた市販のCDをご使用ください。



■ CD-RWの再生について

CD-RWは、ファイナライズしても一般のCDプレーヤーでは再生できません。

本機のような、CD-RW対応プレーヤーでのみ再生が可能です。また、CD-RWはファイナライズ済みでも消去可能で、追加録音も可能です。

■ DVDプレーヤーでの再生について

ファイナライズ済みのCD-RまたはCD-RWをDVDプレーヤーで再生する場合、お手持ちのDVDプレーヤーがCD-RまたはCD-RWの再生に対応しているか、ご確認ください。

対応していない場合は、DVDプレーヤーでの再生はできません。

重要

- 本機のご使用に際しては、著作権法に抵触しないよう、ご注意ください。

著作権について

放送やレコード、ディスク、テープ、その他の録音物の音楽作品は、著作権法により保護されています。

したがって、それらから録音したディスクやテープを

- 売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合

- 営利(店のBGMなど)のために使用する場合は、権利者の許諾が必要です。

詳しい内容や申請、その他の手続きについては、下記までお尋ねください。

お問い合わせ先:

(社)日本音楽著作権協会 (JASRAC)

TEL (03) 3481-2121

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。

お問い合わせ先:

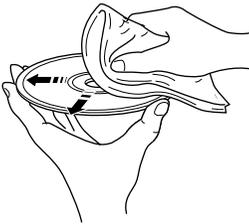
(社)私的録音補償金協会

TEL (03) 5353-0336

■ ディスクの取り扱い

録音が行われず、録音したデータが損なわれる、本機が故障する等の障害が発生する原因となるため、ディスクのお取り扱いに関して、以下の事項を必ずお守りください。

- 本機は、、、マークのあるコンパクトディスク(8cmのディスクを含む)をお使いください。本機ではCD-G、CD-ROM、VCD、CDV、DVDなどは再生できません。
- ディスクは本来、消耗しないようにできていますが、ディスクの取り扱い方によっては傷がつく場合があります。そのようなときは、正しく再生できないことがあります。
- クリーニングディスクや歪んだディスクは使用しないでください。故障の原因となる場合があります。
- CD-RやCD-RWの記録面に、ほこりや指紋、傷などがあつたり、直射日光が当たると、録音や再生できなくなる場合がありますので、以下の点に特にご注意ください。
 1. できるだけディスクの縁を持つようにして、表面に触れないように扱ってください。
 2. 使用後のディスクは必ずケースに入れて保管してください。
 3. 記録面に、指紋やほこりが付いたら、柔らかい布などで軽く内側中心から外側へ直角方向に拭いてください。コンパクトディスクにはレコード盤のような音溝はありません。ホコリや汚れは柔らかい布で軽く拭き取るだけで十分です。



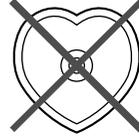
- レコードスプレー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。ディスクはプラスチック製です。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。また、水で拭くことも避けてください。
- 直射日光の当たる場所や、高温多湿な場所に長時間置くとディスクが変形したり、変色したりして、使用できなくなる恐れがありますので、避けてください。

注意!



■ 本機の故障を防ぐために

- 規格外のディスクはご使用にならないでください。ハート型や花の形などの変形ディスク(シェイプCD)は、重量バランスがアンバランスであるため、ご使用にならないでください。規格外のコンパクトディスクを本機にセットしますと、正しく再生できないばかりでなく、ディスクトレイが開いたり、異音の発生や故障の原因となる場合があります。

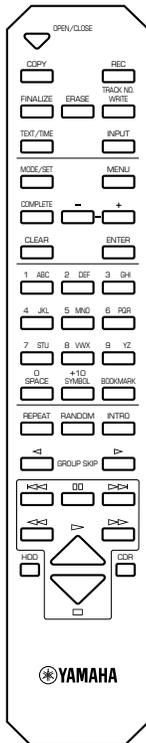


- レーベル面に紙やシール(レーベル面用ラベルシート含む)などを貼ったり、ボールペン等の先の尖ったものや固いもので文字を書かないでください。
- ディスクにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがしたあとがあるものはお使いにならないでください。そのまま本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となる場合があります。
- 8cmのディスクをご使用の場合、上に12cmのディスクを重ねて置かないようご注意ください。

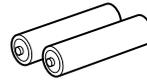
付属品の確認

付属品がすべてそろっているか、確認してください。

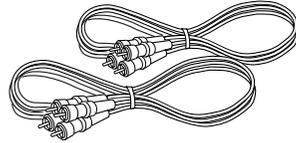
- リモコン



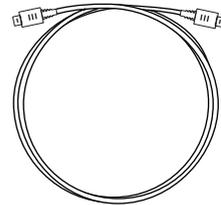
- 単三型乾電池(2本)



- オーディオコード(2本)



- 光ファイバーケーブル



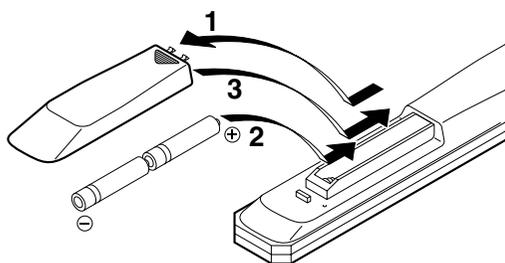
リモコンについて

ご注意

- 本機のリモコン操作によって誤動作をする機器があるときは、その機器の設置場所を変えてください。
- お茶や水をこぼしたり、落としたりしないでください。ストーブのそばや風呂場など、温度・湿度の高いところにも置かないようご注意ください。
- リモコン受光部に、直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようご注意ください。強い光が当たっていると、リモコンが動作しなかったり、誤動作の原因となります。

■ 電池交換のしかた

1. リモコンの裏のふたをはずします。
2. 単三型乾電池を2個、プラス(+)とマイナス(-)の向きを確認して、表示どおりに正しく入れてください。
3. 電池をセットしたらカチッと音がするまでふたを閉めます。



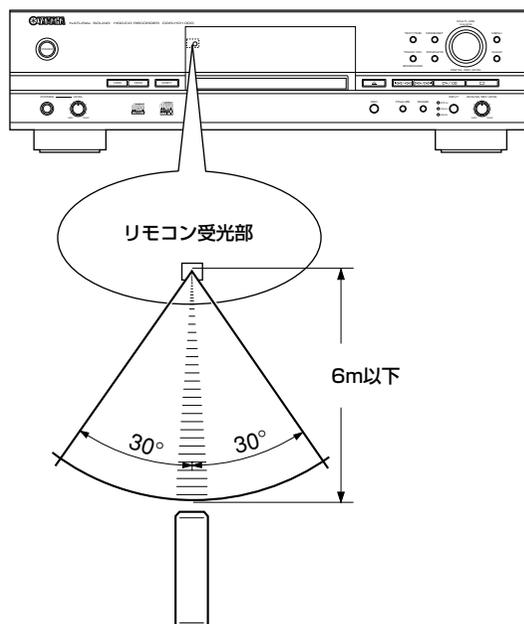
■ 電池交換の時期は？

リモコン操作できる距離が短くなってきたら電池が消耗しています。このときは、2本とも新しい電池に交換してください。

■ 乾電池についてのご注意

- 単三型乾電池をご使用ください。
- 新しい電池と、一度使用したものを混ぜて使用しないでください。
- アルカリやマンガンなど、種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 充電式の乾電池はご使用になれません。
- 電池のプラス(+)とマイナス(-)を金属片で直接つなぐこと(ショート)はしないでください。
- 長い間リモコンを使わないときは、電池を取り出しておいてください。
- 万一液もれが起こったときは、電池入れについた液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。

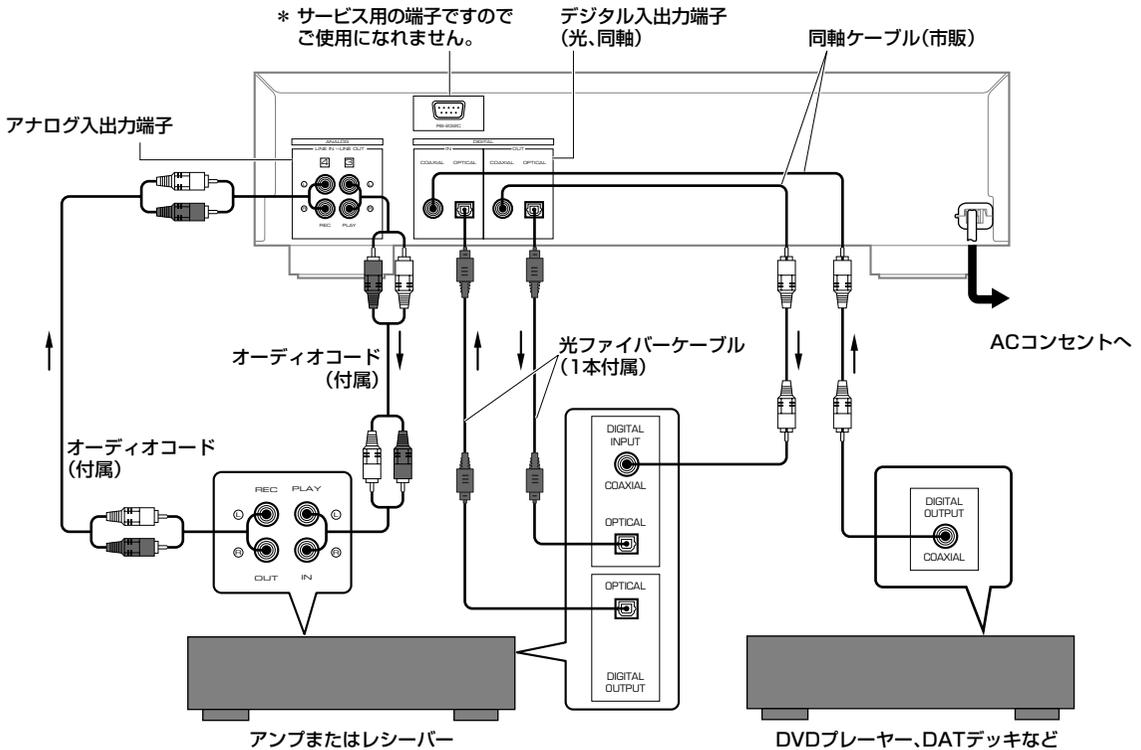
■ リモコンで操作できる範囲



接続する

接続を始める前に、必ず各機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

- 本機の入出力端子と接続するアンプや各機器の入出力端子を正しく接続してください。
- 下図の矢印(→)は信号の流れを示しています。



■ デジタル入出力端子を使って接続する

- 光デジタル入出力端子を使って接続する場合は、接続する前に光デジタル入出力端子についている防塵キャップを取り外し、光ファイバークーブルを使用して接続します。本機的光デジタル入力端子は接続する各機器の光デジタル出力端子に、本機的光デジタル出力端子は接続する各機器の光デジタル入力端子に接続します。
- 取り外した防塵キャップは大切に保管し、光デジタル入出力端子を使用しない場合は必ずキャップを差し込んでください。ほこりなどの侵入を防ぎます。
- 同軸デジタル入出力端子を使って接続する場合は、同軸ケーブルを使用して接続します。本機同軸デジタル入力端子は接続する各機器の同軸デジタル出力端子に、本機同軸デジタル出力端子は接続する各機器の同軸デジタル入力端子に接続します。

■ アナログ入出力端子を使って接続する

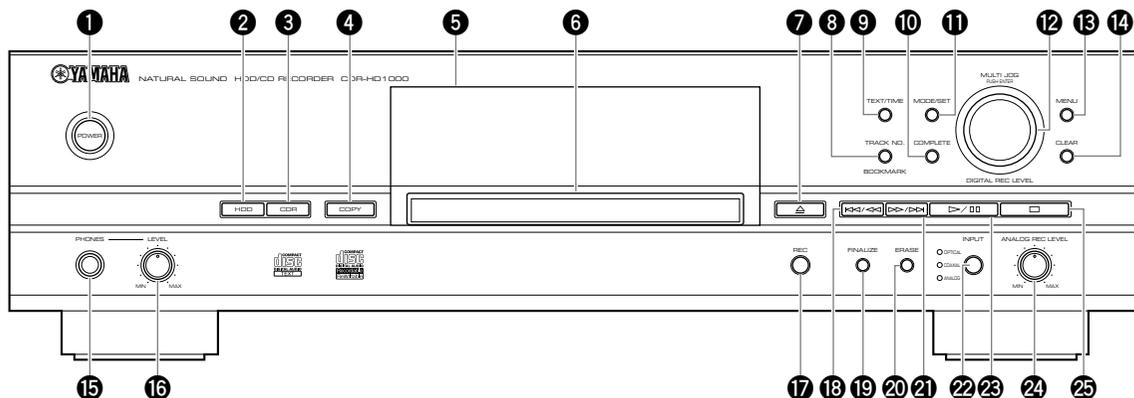
- 本機のアナログ入出力端子を、接続するアンプや各機器の入出力やチャンネル(L、R)をよく確認して正しく接続してください。
- 本機のアナログ入力(REC)端子は接続する各機器のアナログ出力端子に、本機のアナログ出力端子(PLAY)端子は接続する各機器のアナログ入力端子に接続します。
- 本機のアナログ入出力端子には③、④と番号がついています。弊社製のアンプ、レシーバーのアナログ入出力端子にも同じ番号がついていますので、弊社製のアンプ、レシーバーと接続する場合は、同じ番号がついている端子に接続してください。

■ 各機器との接続が終了したら、電源プラグをACコンセントに差し込んでください。

メモ

- HDD、CDの再生時には、アナログ/デジタル両出力端子から信号が出力されます。

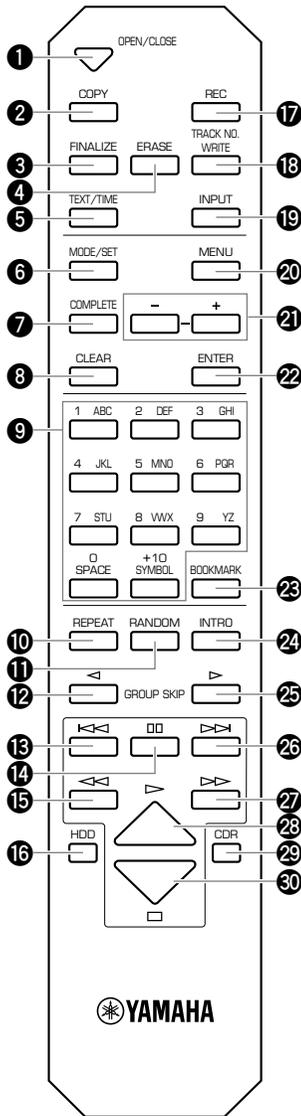
フロントパネル



- ① パワー POWERスイッチ P.13
- ② ハードディスク HDDボタン
- ③ CDRボタン
- ④ コピー COPYボタン P.23, 25, 27
- ⑤ ディスプレイ P.9, 10
- ⑥ ディスクトレイ
- ⑦ Δ ボタン
- ⑧ トラック ナンバー ブックマーク TRACK NO./BOOKMARKボタン P.21, 36
- ⑨ テキスト タイム TEXT/TIMEボタン P.10
- ⑩ コンプリート COMPLETEボタン
- ⑪ モード セット MODE/SETボタン
- ⑫ マルチ ジョグ MULTI JOGノブ
- ⑬ メニュー MENUボタン

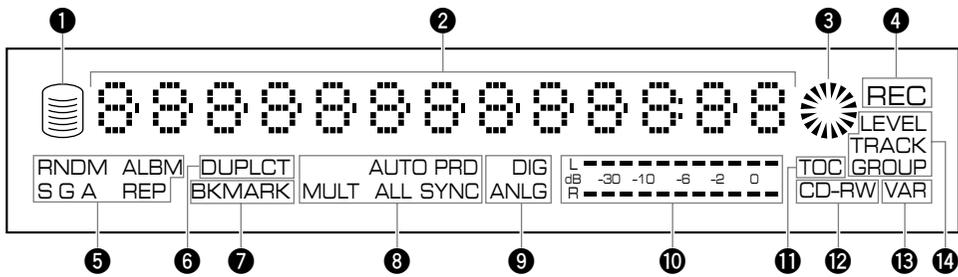
- ⑭ クリア CLEARボタン
- ⑮ PHONESジャック P.58
- ⑯ フォンス レベル PHONES LEVELツマミ P.58
- ⑰ RECボタン P.14, 16
- ⑱ ファイナライズ FINALIZEボタン P.19
- ⑲ イレース ERASEボタン P.51
- ⑳ \ggg/\gg ボタン
- ㉑ インプット INPUTボタン P.17
- ㉒ $\triangleright/00$ ボタン
- ㉓ アナログ レック レベル ANALOG REC LEVELツマミ P.18
- ㉔ ロボタン

リモコン



- ① オープン クローズ OPEN/CLOSEボタン
- ② コピー COPYボタン P.23, 25, 27
- ③ ファイナライズ FINALIZEボタン P.19
- ④ イレース ERASEボタン P.51
- ⑤ テキスト タイム TEXT/TIMEボタン P.10
- ⑥ モード セット MODE/SETボタン
- ⑦ コンプリート COMPLETEボタン
- ⑧ クリア CLEARボタン
- ⑨ 英/数字ボタン P.35, 45, 49, 54
- ⑩ リピート REPEATボタン P.56, 57
- ⑪ ランダム RANDOMボタン P.56
- ⑫ グループ スキップ GROUP SKIP ◀ボタン
- ⑬ ◀◀ボタン
- ⑭ ◻◻ボタン
- ⑮ ◀◀ボタン
- ⑯ ハードディスク HDDボタン
- ⑰ レック RECボタン P.14, 16
- ⑱ トラック ナンバー ライト TRACK NO. WRITEボタン P.21
- ⑲ インプット INPUTボタン P.17
- ⑳ メニュー MENUボタン
- ㉑ +, -ボタン
- ㉒ エンター ENTERボタン
- ㉓ ブックマーク BOOKMARKボタン P.36
- ㉔ イントロ INTROボタン P.57
- ㉕ グループ スキップ GROUP SKIP ▶ボタン
- ㉖ ▶▶ボタン
- ㉗ ▶▶ボタン
- ㉘ ▶ボタン
- ㉙ CDRボタン
- ㉚ ◻◻ボタン

ディスプレイ



- ① HDDマーク
ハードディスク
- ② インフォメーションディスプレイ
- ③ CDRマーク
- ④ RECインジケータ
レック
- ⑤ 再生モード/プレイスタイルインジケータ ... P.55~58
ランダム RNDMインジケータ
アルバム ALBMインジケータ
シングル Sインジケータ
グループ Gインジケータ
オール Aインジケータ
リピート REPインジケータ
- ⑥ DUPLCTインジケータ P.27
デュプリケート
- ⑦ BKMARKインジケータ P.36
ブックマーク
- ⑧ 録音モードインジケータ P.20, 28
オート AUTOインジケータ
ピリオド PRDインジケータ
マルチ MULTインジケータ
オール ALLインジケータ
シンクロ SYNCインジケータ
- ⑨ コピー方式インジケータ P.30
デジタル DIGインジケータ
アナログ ANLGインジケータ
- ⑩ レベルメータ P.18, 19, 30, 51
- ⑪ TOCインジケータ P.19, 51
トラック
- ⑫ CD-RWインジケータ P.19, 51
- ⑬ VARインジケータ P.18, 30
バリエابل
- ⑭ MULTI JOGステータスインジケータ
マルチ ジョグ
レベル LEVELインジケータ
トラック TRACKインジケータ
グループ GROUPインジケータ

ディスプレイの切り替え

本機中央のディスプレイには、選択しているドライブ(HDDまたはCDドライブ)についての情報が表示されます。

■ 再生時の表示

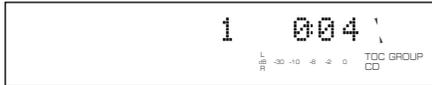
各表示は、TEXT/TIMEボタンを押すごとに以下のように切り替わります。

グループナンバー、トラックナンバーおよびトラック経過時間;

HDD再生時

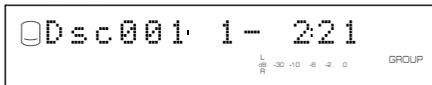


CD再生時

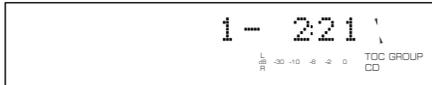


グループナンバー、トラックナンバーおよびトラック残り時間;

HDD再生時

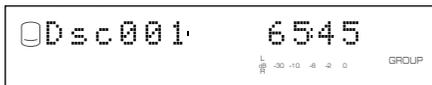


CD再生時



グループナンバーおよびグループ総時間;

HDD再生時

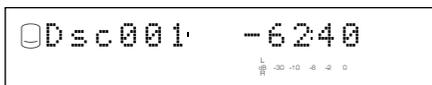


CD再生時

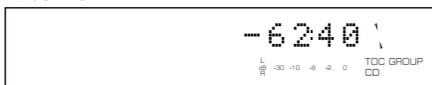


グループナンバーおよびグループ残り時間;

HDD再生時



CD再生時



グループタイトルまたはトラックタイトル;

グループタイトル(またはCD-TEXT)



トラックタイトル(またはCD-TEXT)



メモ

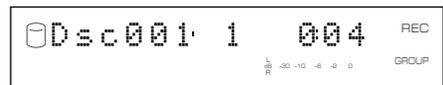
- MULTI JOGノブを押すごとに、GROUPインジケータとTRACKインジケータが切り替わり、同様にグループタイトルとトラックタイトルが切り替わります。
- タイトルが13文字以上の場合、左スクロールして全体を表示します。全体を表示したあとは、最初の13文字を表示します。

■ 録音時の表示

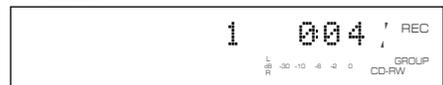
各表示は、TEXT/TIMEボタンを押すごとに以下のように切り替わります。

ディスクナンバー(HDD録音時)、トラックナンバーおよびトラック経過時間;

HDD録音時

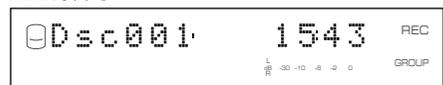


CDR録音時



ディスクナンバー(HDD録音時)およびディスク既録音時間;

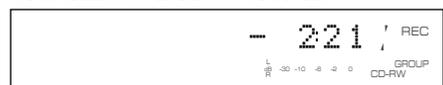
HDD録音時



CDR録音時



ディスク録音可能残り時間(CDR録音時);



デジタル録音のルール

■ SCMS—Serial Copy Management Systemについて
本機は、シリアルコピーマネージメントシステムの規格に準拠したデジタルオーディオ機器です。

「シリアルコピーマネージメントシステム」は、各種デジタルオーディオ機器の間で、「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」するというデジタル信号同士のコピーを「1世代まで」と規制したものです。

デジタル入力で録音した音源は、それをういて次のデジタル録音をすることができません。

これには、次の2つの原則があります。

原則1

コンパクトディスク(CD)など市販のデジタル音源は、本機へデジタルコピー(第1世代のコピー)ができます。ただし、それを用いて、さらにデジタルコピーすることはできません。

原則2

本機のアナログ入力を經由して録音した音源は、それから次のデジタルコピー(第1世代のコピー)ができます。ただし、それを用いて、さらにデジタルコピーすることはできません。

本機では、デジタル録音の際に、常にこのSCMSのステータスをトラックごとに監視しています。デジタル録音やコピーが禁止されているトラックは、それを用いてのデジタル録音やコピーを行うことができません。

なお、アナログ入出力を經由してのアナログ録音やコピーには、この規制は適用されません。

本機でCDからHDD、またはHDDからCD-RまたはCD-RWへコピーする際は、「Copy Method」により、以下の選択ができます。

- Auto Dig/Anlg:
トラックごとにSCMSの判定を行い、デジタルコピーができない場合には、自動的にアナログコピーに切り替えます。
- Digital Copy/Move:
CDからHDDの場合は、デジタルコピーが可能なトラックのみコピーを行います。HDDからCD-RまたはCD-RWの場合は、デジタルムーブとなります(次項参照)。
- Analog Copy:
SCMSにかかわらず、アナログでコピーを行います。

■ Digital Move (デジタルムーブ)について

本機には、長時間の録音が可能な大容量のHDDが内蔵されています。いづれHDDに録音されたさまざまな音源をあとで編集して、CD-RまたはCD-RWにコピーすることにより、本機一台でオリジナルCDを作成できます。

HDD上で作成されたマスターをCD-RまたはCD-RWにデジタルのままコピーしたい場合、Digital Moveという機能を使用します。これにより、SCMSで次のデジタルコピーが禁止されているトラックについて、デジタルのままHDDからCD-RまたはCD-RWへコピーすることができます。

ただし、データをHDDからCD-RまたはCD-RWへ移動させるという概念であるため、HDD上の元データは、その時点で消去されます。詳しくはP.30を参照ください。

本機のシステム

■ 録音できるディスク数、トラック数とその長さ

- ひとつのディスクに録音できるトラック数(曲数)は最大99トラックです。
- すでに99トラックが録音されている場合は、たとえ録音時間が余っていても、そのディスクには録音できません。
- トラックの最短時間は4秒です。4秒以内に録音を停止すると、4秒になるまで録音し停止します。また、最長時間は99分59秒です(HDDの場合)。
- 本機のHDDには、最大99トラックが記録されたディスクを999個まで記録することが可能ですが、実際にはHDDの容量(総録音可能時間)により、記録できるディスク数は制限されます。HDDの総録音可能時間は約30時間です。
- HDD上のひとつのディスクの最長時間は99分59秒ですが、各トラックはフレーム単位(75フレーム=1秒)で管理されているため、トラックおよびディスクの最長時間は99分59秒から増減することがあります。

■ サンプリング周波数の変換について

- 本機のデジタル入力は、32kHz、44.1kHz、48kHz、96kHzのサンプリング周波数に対応しています。これらの入力は本機内部ですべてサンプリング周波数44.1kHz、16bitのデジタル信号に変換されて、HDDまたはCD-R、CD-RWに記録されます。
- アナログ入力も同様のデジタル信号に変換されて記録されます。
- 本機のデジタル出力は、常時サンプリング周波数44.1kHz、16bitのデジタル信号を出力します。

■ オーディオ以外の信号について

- 本機はオーディオ信号専用の録音機として設計されています。入力されたデジタル信号がオーディオ信号の場合に限り、録音可能です。
- CD TEXTが記録されているCDをHDDへコピーした場合、CD TEXTは、コピー禁止でなければ、自動的にコピーされません。
- CDグラフィックのように、デジタル信号にグラフィックデータが記録されている場合には、音声以外のデータは記録されません。
- CD-ROM、DVDなどのオーディオ信号以外のソースを記録することはできません。

■ データ処理について

- データ処理のため、実際の曲のデータ以外に、少量のHDD容量を消費する場合があります。
- 本機のHDDには、最大999個のアルバムを記録できますが、アルバムを大量に記録した場合、編集を行う際の、データ処理速度が若干遅くなる場合があります。

■ HDD上のデータについて

本機に内蔵のHDDへ録音された曲には、以下のような概念で番号がつけられ整理されます。

ディスク

一回の連続した録音は、ディスクという単位で番号をつけて記録されます。本機のHDDには最大999個のディスクを記録することができます(ただし、HDDの容量により制限されることがあります)。

トラック

ひとつのディスクには最大99曲のトラックを記録することができます(ただし、HDDの容量により制限されることがあります)。ひとつのトラックの最短時間は4秒、最長時間は99分59秒です。

アルバム

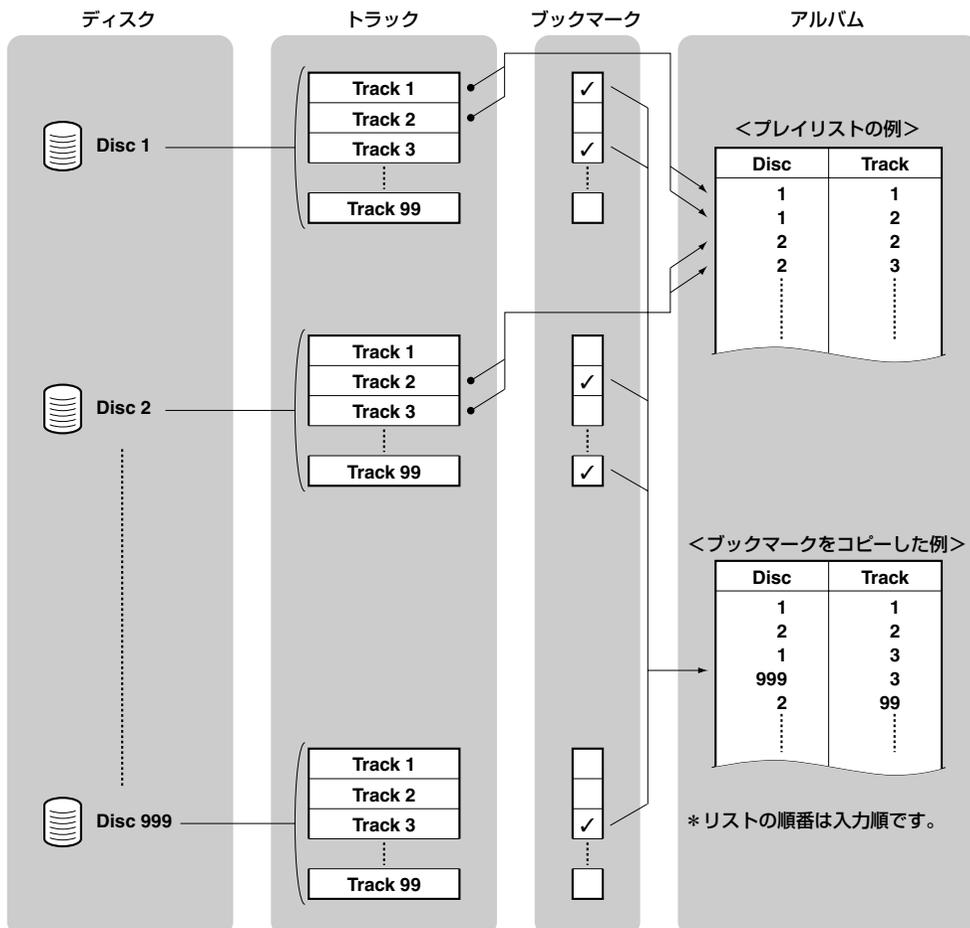
複数のディスクから曲を選択し、プレイリストとして保存したものをアルバムと呼びます。本機のHDDには最大999個のアルバムを記録することができます。詳しくはP.31を参照ください。

ブックマーク

本機では曲を再生しながら、聞きたい曲や、アルバムに保存したい曲に一時的な印をつけることができます。印がつけられた曲のリストをブックマークと呼びます。一時的な印であるため、複数の保存ができませんが、ブックマークをアルバムにコピーすることにより、簡単にアルバムを作成できます。詳しくはP.36を参照ください。

グループ

上記のディスク、アルバム、ブックマーク等、ひとつ以上のトラックの集まりを総称してグループと呼びます。グループとして、録音されたディスク、作成されたアルバム、つけられたブックマークを順に選ぶことができます。



使用できる記録媒体

本機での録音・コピーには、記録媒体としてハードディスク(HDD)と録音用コンパクトディスク(CD-RまたはCD-RW)の二種類を使用することができます。目的や用途に応じて、どちらを使用するか選択してください。

HDDは、長時間の連続録音や、録音後に編集などを行う場合に便利です。

CD-R、CD-RWは他のCDプレーヤーで再生できるオリジナルCDを作成する場合に使用します。

録音・コピーの種類

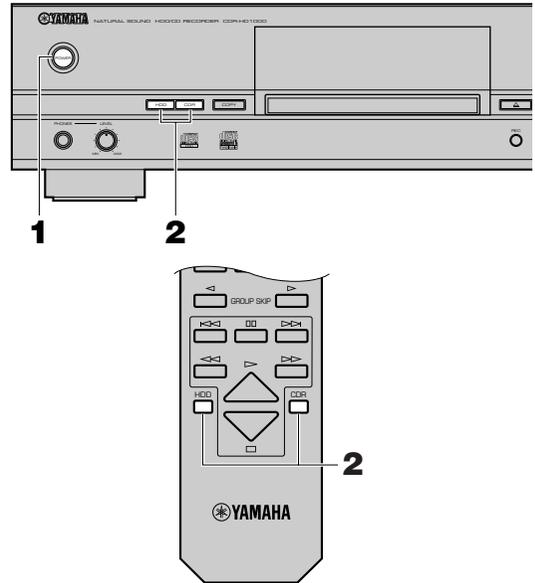
本機では、以下の5通りの方法で録音・コピーをすることができます。

- 外部機器からHDDへの録音
→ P.14を参照ください。
- 外部機器からCD-RまたはCD-RWへの録音
→ P.15を参照ください。
- CDからHDDへのコピー
→ P.22を参照ください。
- HDDからCD-RまたはCD-RWへのコピー
→ P.24を参照ください。
- CDの複製(Duplicate)
→ P.26を参照ください。

メモ

- コピー可能なCD TEXTを含むCDを外部プレーヤーから録音したときは、CD TEXTはコピーされません。CD TEXTのコピーを行うには、P.22『CDからHDDへのコピー』の手順に従い、CDからHDDへのコピーを行ってください。

録音・コピーを始める前に

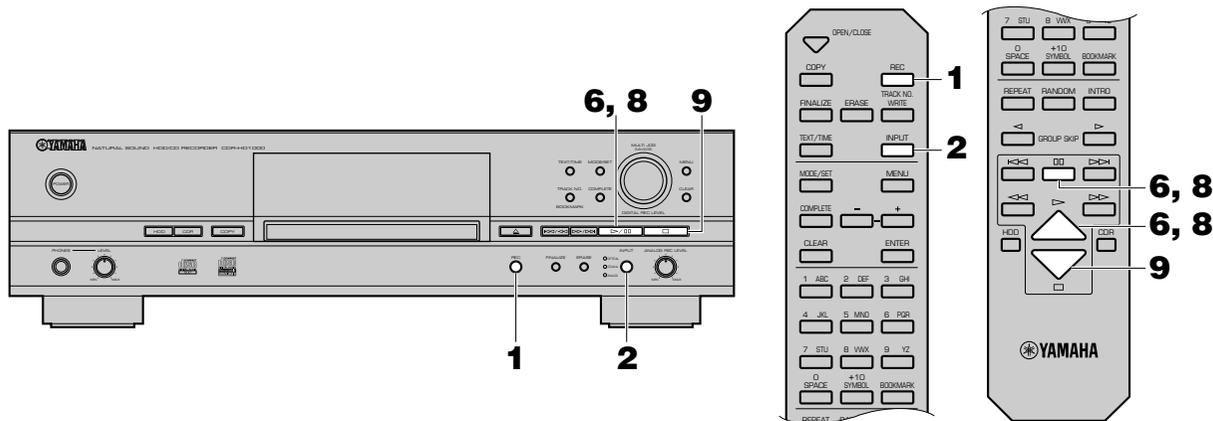


- 1. 本体前面のPOWERスイッチを押し、電源を入れます。**
ディスプレイに"WELCOME TO YAMAHA HDD/CD SYSTEM"と表示されます。この表示が終わると、操作可能になります。
- 2. 記録媒体を選択します。**
HDDへ録音するときはHDDボタンを、CD-RまたはCD-RWへ録音するときはCDRボタンを押してください。

録音の基本操作

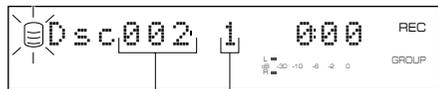
以下、録音の基本操作を説明します。操作手順は、本体とリモコンの操作ボタンで説明してあります。

外部機器からHDDへの録音



1. RECボタンを押します。

HDDマークが点滅し、録音先のディスクナンバーとトラックナンバーが表示されます。この時点では、まだ録音は開始されません(録音一時停止状態)。



録音先のディスクナンバー 録音先のトラックナンバー

2. 録音する入力ソースを選択します。

INPUTボタンを押して、録音する入力ソースをOPTICAL、COAXIAL、ANALOGから選択します。詳しくはP.17を参照ください。

3. 録音レベルを調整します。

デジタル入力、アナログ入力両方の録音レベルが調整できます。詳しくはP.17を参照ください。

4. 録音先のディスクを選択します。

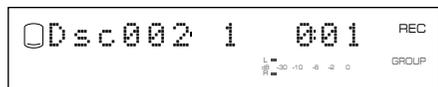
詳しくはP.20を参照ください。

5. 録音モードの選択をします。

詳しくはP.20を参照ください。

6. 録音を開始します。

▶/00ボタン(リモコンでは▶ボタンまたは00ボタン)を押すと、録音が始まります。



メモ

- マルチシンクロ録音、全曲シンクロ録音時には、ソースを再生すると自動的に録音が始まります。

7. ソースを再生します。

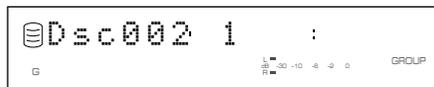
8. 録音を一時停止するには、▷/00ボタン(リモコンでは00ボタン)を押します。

HDDマークが点滅し、トラックナンバーがひとつ繰り上がります。

録音を再び始めるには、▶/00ボタン(リモコンでは▶または00ボタン)を押します。

9. 録音を終えるには、□ボタンを押します。

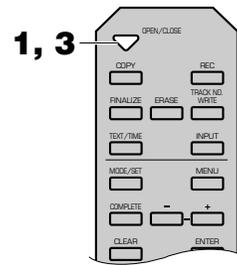
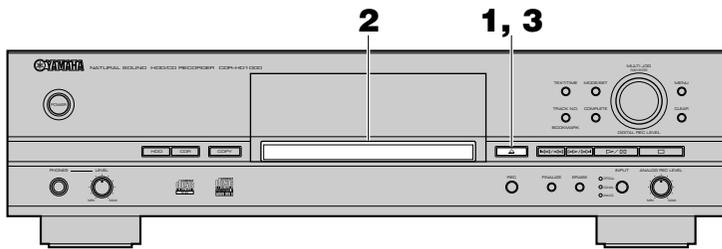
ディスプレイには、録音が終わったディスクの最初のトラックナンバーが表示されます。



重要

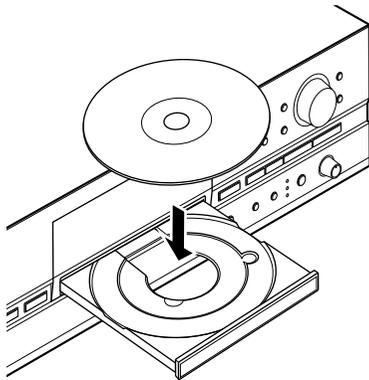
- 録音中に電源を切らないでください。正しく録音できなかったり、HDD上のデータの破損の原因となります。
- HDD故障の原因となる場合があるので、録音中は衝撃や振動を本機に加えないでください。

外部機器からCD-RまたはCD-RWへの録音



<ディスクの準備>

1. △ボタン(リモコンではOPEN/CLOSEボタン)を押して、ディスクトレイを開けます。
2. 新品またはファイナライズされていないCD-RまたはCD-RWをトレイに置きます。
ディスクトレイの溝にあわせ、記録面を下に向けてCD-RまたはCD-RWを置きます。



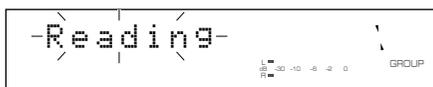
3. △ボタン(リモコンではOPEN/CLOSEボタン)を押して、ディスクトレイを閉じます。

メモ

- ディスクトレイを静かに押ししても、ディスクトレイは閉じます。ファイナライズされていないCD-RまたはCD-RWを入れた場合、再生が始まってしまうので、□ボタンを押して再生を停止してください。

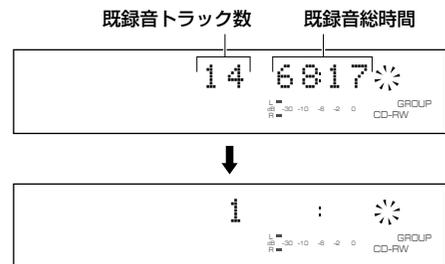
本機にディスクを入れると、本機内部でディスクの種類や容量を読み取ります。読み取り完了まで約10~15秒かかります。

その間、ディスプレイには以下のように表示されます。



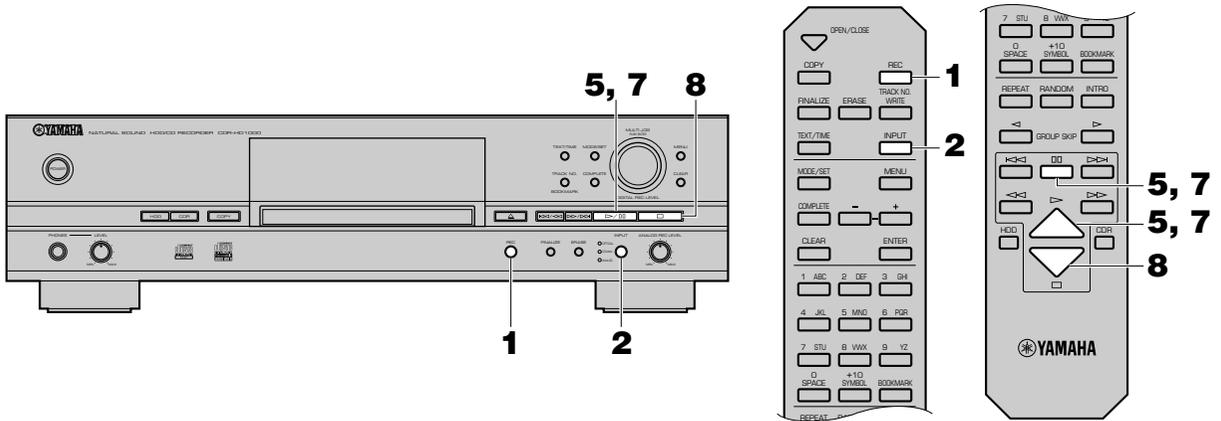
ディスク情報の読み取りが完了すると、ディスプレイには以下のように表示され、操作可能になります。

■ 未ファイナライズのCD-RまたはCD-RWの場合



■ 新品のCD-RまたはCD-RWの場合



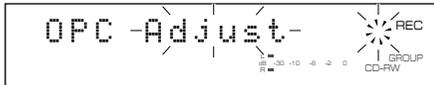


<録音の開始>

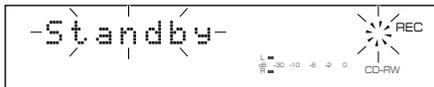
1. RECボタンを押します。

入れたディスクの記録条件等によっては、本機は最適な録音が行われるように、ディスクの反射に対し、レーザーの強さを自動的に調節します。この過程はOPC(Optimum Power Calibration)と呼ばれます。調節完了まで約15秒かかります。

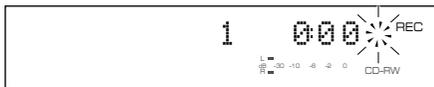
ディスプレイには以下のように表示されます。



また、本機が入れたディスクに対して、OPCが不要と判断した場合、"Standby"が点滅します。



数秒後、CDRマークが点滅し、録音されるトラックナンバーが表示されます。この時点では、まだ録音は開始されません(録音一時停止状態)。



メモ

- 録音を開始する前に、ディスクの録音可能残り時間を確認してください(P.10参照)。

2. 録音する入力ソースを選択します。

INPUTボタンを押して、録音する入力ソースをOPTICAL、COAXIAL、ANALOGから選択します。詳しくはP.17を参照ください。

3. 録音レベルを調整します。

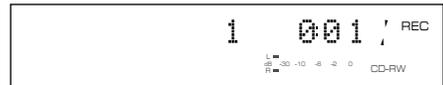
デジタル入力、アナログ入力両方の録音レベルが調整できます。詳しくはP.17を参照ください。

4. 録音モードの選択をします。

詳しくはP.20を参照ください。

5. 録音を開始します。

▷/00ボタン(リモコンでは▷ボタンまたは00ボタン)を押すと、録音が始まります。



メモ

- マルチシンクロ録音、全曲シンクロ録音、フルオートシンクロ録音時には、ソースを再生すると自動的に録音が始まります。

6. ソースを再生します。

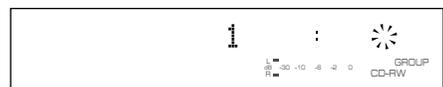
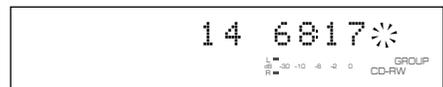
7. 録音を一時停止するには、▷/00ボタン(リモコンでは00ボタン)を押します。

"Wait"が点滅します。数秒後、CDRマークが点滅し、トラックナンバーがひとつ繰り上がります。

録音を再び始めるには、▷/00ボタン(リモコンでは▷または00ボタン)を押します。

8. 録音を終えるには、□ボタンを押します。

"Wait"が点滅します。数秒後、既録音トラック数および既録音総時間が表示されたあと、録音された最初のトラックナンバーが表示されます。



9. ディスクへの録音がすべて終了したら、ファイナライズを行います。

ファイナライズについてはP.19を参照ください。

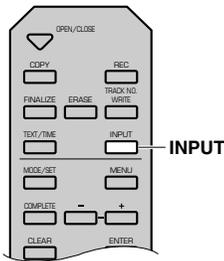
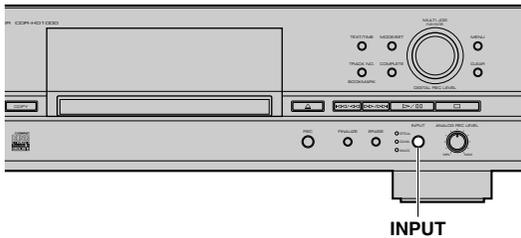
重要

- 録音中に電源を切らないでください。正しく録音できなかったり、ディスク破損の原因となります。
- CD-Rに録音中、電源を切ると、PMA(Program Memory Area)に情報が書き込まれないため、ディスクに録音できなくなったり、正しく再生できない場合があります。
- 音飛びの原因となる場合があるので、録音中は衝撃や振動を本機に加えないでください。

入力ソースを選択する

本機ではINPUTボタンで録音する入力ソースをOPTICAL(光デジタル入力)、COAXIAL(同軸デジタル入力)、ANALOG(アナログ入力)から選択して、切り替えることができます。

- DIGITAL IN(OPTICAL)端子に接続されたソースを録音する場合は、OPTICALを点灯させます。
- DIGITAL IN(COAXIAL)端子に接続されたソースを録音する場合は、COAXIALを点灯させます。
- LINE IN(REC)端子に接続されたソースを録音する場合は、ANALOGを点灯させます。



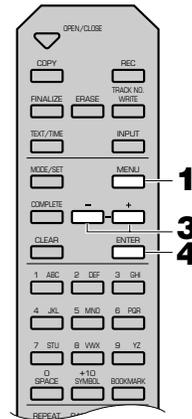
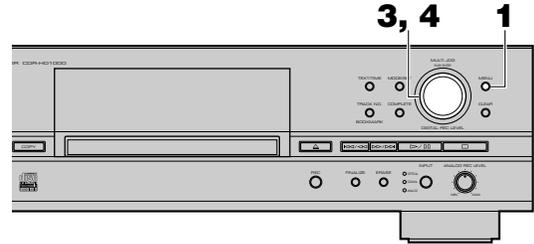
メモ

- この切り替えは、録音一時停止状態で行います。

録音レベルを調節する

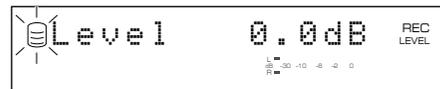
録音する入力ソース別に調整手順があります。録音する入力ソースに合わせて、下記の手順を参照してください。

■ デジタル入力ソースを録音する場合



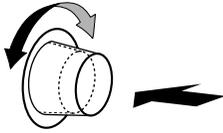
デジタル入力ソースの録音レベルは、デジタルソースの基準レベルのまま録音する0dBに初期設定されています。通常、調節は不要ですが、必要に応じて調節することができます。

- 録音一時停止状態でMENUボタンを押します。ディスプレイには以下のように表示されます。



- 録音する入力ソースの一番大きい音の(レベルが高い)部分を再生します。

3. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、レベルを調整します。



-12dBから+12dBの範囲で、0.4dBステップで調整できます。レベルを0dB以外に設定すると、ディスプレイにVARインジケータが点灯します。



録音レベルの調節は、最大音量時にピークレベルメーターの赤色の部分を点灯させない程度にしてください。

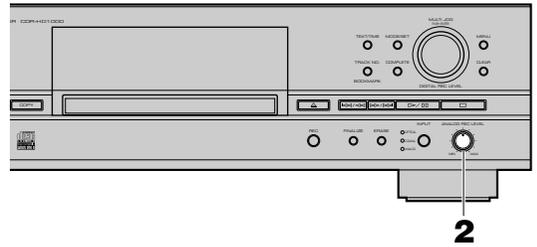


4. MULTI JOGノブを押すと(リモコンではENTERボタンを押すと)、もとの表示に戻ります。

メモ

- 録音一時停止中、録音中にかかわらず、レベルの調整ができます。いったんストップすると0dBにリセットされます。
- 録音一時停止中にレベルを調整しているとき、MENUボタンを押すと、レベル調整がキャンセルされ、ディスプレイがもとの表示に戻ります。
- 録音一時停止中にレベルを調整しているとき、CLEARボタンを押すと、レベルが0dBに設定されます。

■ アナログ入力ソースを録音する場合



1. 録音する入力ソースの一番大きい音の(レベルが高い)部分を再生します。

2. ANALOG REC LEVELツマミを回して、レベルを調整します。

ツマミを右に回すとレベルが大きくなり、左に回すとレベルが小さくなります。

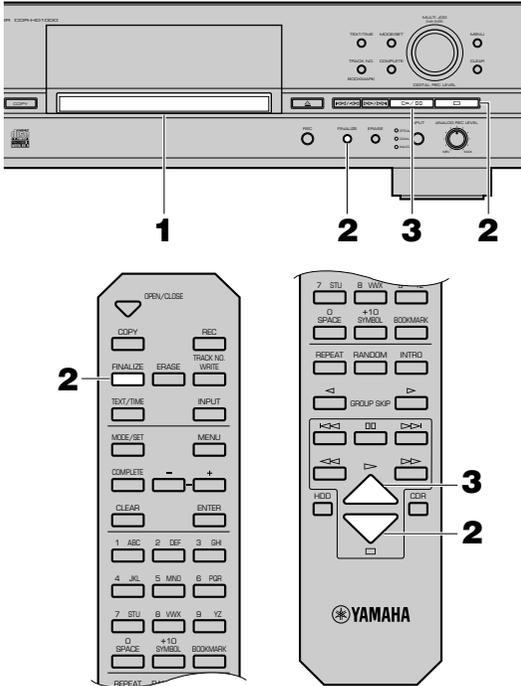
録音レベルの調節は、最大音量時にピークレベルメーターの赤色の部分を点灯させない程度にしてください。

メモ

- 録音一時停止中、録音中にかかわらず、レベルの調整ができます。

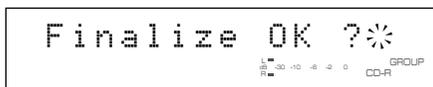
ファイナライズする

ファイナライズとは、録音が終了したCD-Rを一般のCDプレーヤーで再生できるようにする最終処理です。(ただし、CD-RWはファイナライズしても、CD-RWに対応している機器でしか再生できません。CD-RWは一般のCDプレーヤーでは再生できません。)



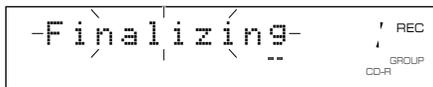
1. 未ファイナライズの録音済みCD-RまたはCD-RWを入れます。

2. FINALIZEボタンを押します。



ファイナライズをやめるときは、□ボタンを押します。

3. ▷/⏪ボタン(リモコンでは▷ボタン)を押して、ファイナライズを始めます。



ファイナライズ中はレベルメーターにて、進行状況を表示します。



ファイナライズ開始



ファイナライズ中

- CD-Rのファイナライズが完了すると、ディスプレイのCD-RインジケータはCDインジケータに切り替わり、TOCインジケータが点灯し本機は停止します。

TOC GROUP
CD

- CD-RWのファイナライズが完了すると、ディスプレイにTOCインジケータが点灯し、本機は停止します。

TOC GROUP
CD-RW

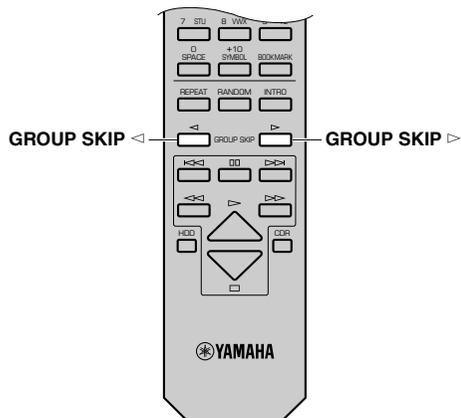
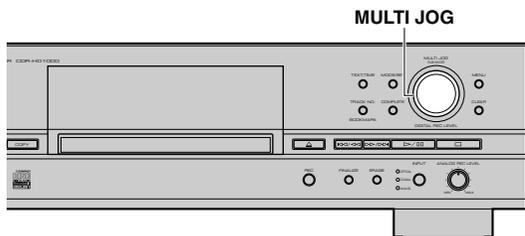
ご注意

- ファイナライズ済みのCD-Rには、追加で録音できません。ファイナライズする前に、録音がすべて終了したか、よく確認してください。
- ディスクを入れる前に、ディスクに傷やほこり、指紋などの汚れがついていないか確認してください。(ディスクのお手入れについては、P.3を参照ください。)
- ファイナライズが始まると、ファイナライズが完了するまで、操作ボタンを受け付けません。
- ファイナライズ中は絶対に電源を切ったり、電源コードを抜かないでください。

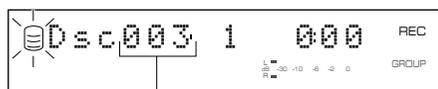
メモ

- 高速書き込みに対応していないCD-RまたはCD-RWの場合は、低速ファイナライズモードでファイナライズを行ってください。手順2で約3秒間、FINALIZEボタンを押したままにすると、「Slow Fniz OK?」と表示され、低速ファイナライズモードとなります。

録音先のディスクを選択する



HDDへの録音時には、HDD上のどのディスクに録音するか選択できます。録音一時停止状態でMULTI JOGノブを回して(リモコンではGROUP SKIP<ボタンまたはGROUP SKIP>ボタンを押して)、録音先のディスクナンバーを選択してください。

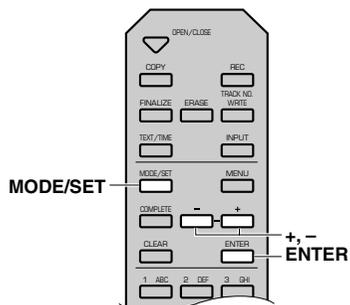
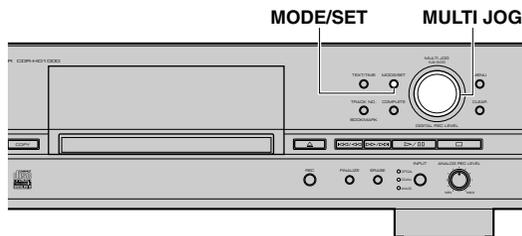


録音先のディスクナンバー

メモ

- この選択をしない場合は、HDD上の空いているディスクのうち、ディスクナンバーが最小のディスクに録音されます。
- すでに曲が録音されているディスクを選択した場合、そのディスクの最終トラック以降へ追加録音されます。

録音モードを設定する



本機には多様な録音モードがあります。目的にあわせて適切なモードを選択してください。

- 録音一時停止状態でMODE/SETボタンを押します。
録音モードの選択に入ります。
- MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、録音モードを選択します。
以下の録音モードから選択してください。

■ Manual(マニュアル録音)

録音開始、停止、トラックマーキング、ファイナライズ(CD-RまたはCD-RWへの録音時のみ)等すべての録音操作は、マニュアルで行います。

■ Multi Sync.(マルチシンクロ録音)

ソース側の再生と同期して指定した曲数を録音します。曲数は最小1曲から最大99曲の範囲で指定できます。いろいろなソースからお好みの曲だけを録音するとき便利です。

■ All Synchro(全曲シンクロ録音)

ソース側の再生と同期して全曲の録音を行います。曲間を検出して自動的にトラックマークがつかます。

■ Full Auto(フルオートシンクロ録音)

(CD-RまたはCD-RWへの録音時のみ)
全曲シンクロ録音後、自動的にファイナライズされて、CD-RはすぐCDとして使用できます。

■ Auto Period(オートピリオド録音)

指定した時間間隔で、トラックマークをつけながら、指定したトータル時間分の録音を行います。トラックマークをつける時間間隔は最短10秒から最長30分の範囲で、10秒ステップで指定できます。FM放送などの録音内容をサーチするときなどに便利です。

3. MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)、録音モードを確定します。"Multi Sync."または"Auto Period"を確定した場合は、以下の手順に従い、詳細の設定をしてください。

■ Multi Sync.を確定した場合

ディスプレイには以下のように表示され、曲数の指定に入ります。



1. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、曲数を指定します。
最小1曲から最大99曲の範囲で指定できます。
2. MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)、指定する曲数を確定します。

■ Auto Periodを確定した場合

ディスプレイには以下のように表示され、トラックマークをつける時間間隔の指定に入ります。



1. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、トラックマークをつける時間間隔を指定します。
最短10秒から最長30分の範囲で、10秒ステップで指定できます。
2. MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)、トラックマークをつける時間間隔を確定します。
ディスプレイには以下のように表示され、録音するトータル時間の指定に入ります。

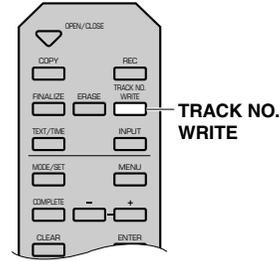
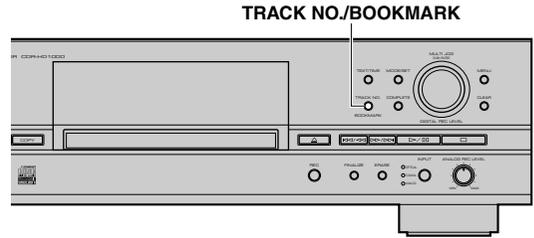


3. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、録音するトータル時間を指定します。
4. MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)、録音するトータル時間を確定します。

メモ

- この選択をしない場合は、常にマニュアル録音されます。
- マニュアル録音またはオートピリオド録音を選択すると、ディスクの総録音時間がディスクの最長時間を超えても、自動的に次の空いているディスクに連続して録音することができます。100分以上の長時間録音を行う場合は、マニュアル録音またはオートピリオド録音をおすすめします。
- HDDへのオートピリオド録音時に、グループ残り時間がトラックマークをつける時間間隔に満たない場合は、自動的に次の空いているディスクに連続して録音を行います。
- オートピリオドで録音した場合にはフレーム単位で若干の誤差が生じるため、録音終了後の各トラック時間およびグループ総時間の表示が、指定した時間間隔およびトータル時間と合わないことがあります。

録音中に曲番をつける (マニュアルマーキング)



本機は自動的に曲番をつけて録音しますが、録音中に自分で曲番をつけることができます(マニュアルマーキング)。

録音中、TRACK NO./BOOKMARKボタン(リモコンではTRACK NO. WRITEボタン)を押します。

- TRACK NO./BOOKMARKボタン(リモコンではTRACK NO. WRITEボタン)を押した箇所に、トラックマークが追加されます。
- マニュアルマーキングはトラックの先頭から5秒間録音したところで有効になります。また、99曲以上はひとつのディスクに記録できません。ディスクに録音残り時間がある場合でも、99曲トラックマークがついていると、それ以上追加して録音できません。

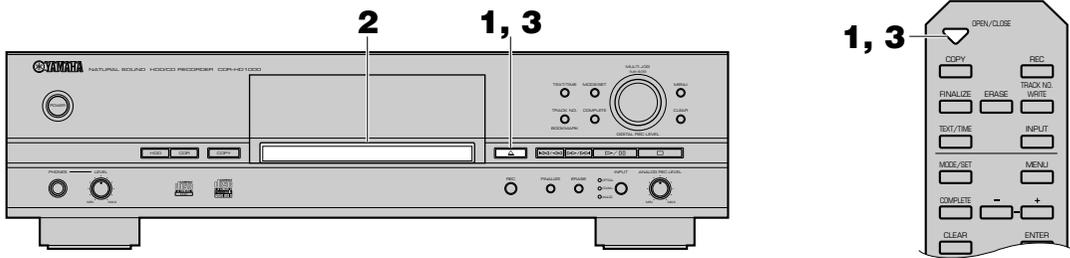
メモ

- 極めて低いレベルで、アナログ入力ソースを録音しているときや、衛星放送をデジタル録音するときなどは、マニュアルでトラックマークをつけることをおすすめします。
- 再生する機器によっては、シンクロ録音時でも、トラックマークが正しくつかない場合があります。この場合は、マニュアルでトラックマークをつけてください。
- 録音するソースにノイズや低いレベルの音がある場合や曲間が短い場合は、無音部分の認識ができず、トラックマークが正しくつかない場合があります。この場合は、マニュアルでトラックマークをつけてください。
- シンクロ録音中もマニュアルでトラックマークをつけることができます。

コピーの基本操作

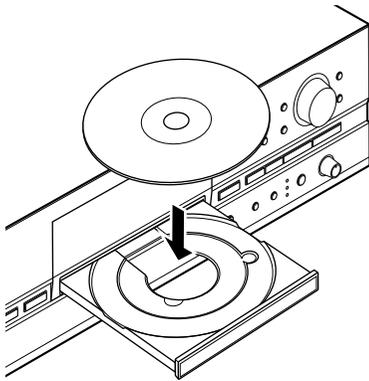
以下、コピーの基本操作を説明します。操作手順は、本体とリモコンの操作ボタンで説明してあります。

CDからHDDへのコピー

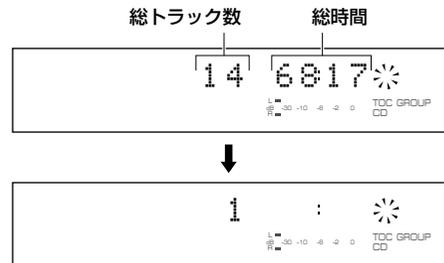


<ディスクの準備>

1. **△ボタン**(リモコンではOPEN/CLOSEボタン)を押して、ディスクトレイを開けます。
2. コピー元のCDをトレイに置きます。
ディスクトレイの溝にあわせ、レーベル面を上にしてCDを置きます。



ディスク情報の読み取りが完了すると、ディスプレイには以下のように表示され、操作可能になります。



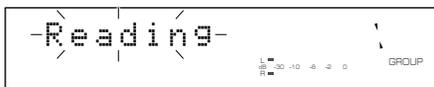
3. **△ボタン**(リモコンではOPEN/CLOSEボタン)を押して、ディスクトレイを閉じます。

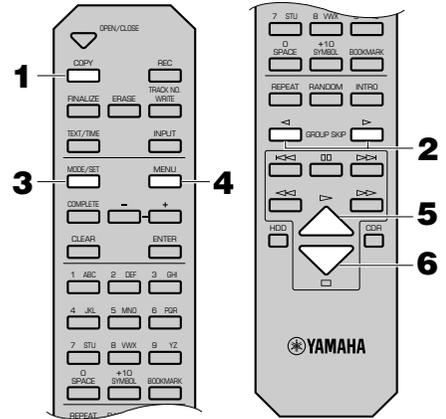
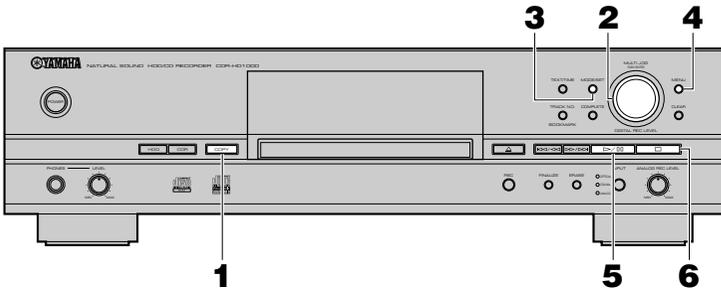
メモ

- ディスクトレイを静かに押しても、ディスクトレイは閉じません。この場合、CDの再生が始まってしまうので、□ボタンを押して再生を停止してください。

本機にディスクを入れると、本機内部でディスクの種類や容量を読み取ります。読み取り完了まで約10～15秒かかります。

その間、ディスプレイには以下のように表示されます。

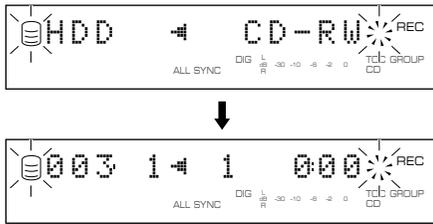




<コピーの開始>

1. COPYボタンを1回押します。

ディスプレイには以下のように表示され、コピースタンバイ状態になります。この時点では、まだコピーは開始されません。



2. コピー先のディスクを選択します。

MULTI JOGノブを回して(リモコンではGROUP SKIP< ボタンまたはGROUP SKIP>を押して)、コピー先のディスクを選択します。詳しくはP.28を参照ください。

3. コピーモードを選択します。

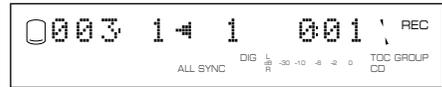
MODE/SETボタンを押すと、コピーモードの設定に入ります。詳しくはP.28を参照ください。

4. コピーメニューで詳細の設定をします。

MENUボタンを押すと、コピーメニューの設定に入ります。詳しくはP.29を参照ください。

5. コピーを開始します。

▷/◀◀ボタン(リモコンでは▷ボタン)を押すと、コピーが開始します。



メモ

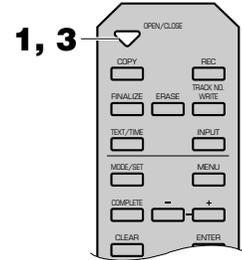
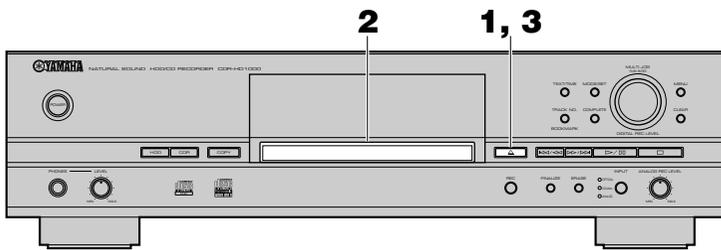
- コピーの準備のため、▷/◀◀ボタン(リモコンでは▷ボタン)を押してから、実際にコピーが開始されるまで多少時間がかかります。
- 本機は、高速でCDを回転させてコピーを行いますので、若干の振動および回転音が発生することがあります。このような場合は、コピー速度を落とすことにより、振動および回転音を小さくすることができます。(P.30「Copy Speed(コピー速度の設定)」を参照ください。)

6. コピーが終了すると、自動的にHDDとCDの動作が停止します。コピーの途中で中止するには、◻ボタンを押してください。

コピー時の再生音の信号出力について

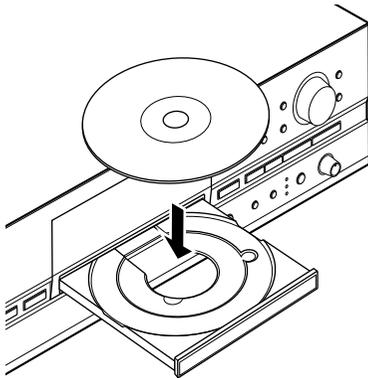
- 1倍速でコピーを行う場合には、アナログ/デジタル両出力端子から再生音の信号が出力されます。
- 2倍速でコピーを行う場合には、アナログ出力端子から速度に応じた再生音の信号が出力されます。(デジタル出力端子からは出力されません。)
- 4倍速以上でコピーを行う場合には、アナログ/デジタル両出力端子ともに再生音の信号は出力されません。

HDDからCD-RまたはCD-RWへのコピー



<ディスクの準備>

1. △ボタン(リモコンではOPEN/CLOSEボタン)を押して、ディスクトレイを開けます。
2. 新品またはファイナライズされていないCD-RまたはCD-RWをトレイに置きます。
ディスクトレイの溝にあわせ、記録面を下に向けてCD-RまたはCD-RWを置きます。



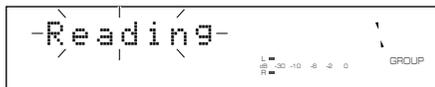
3. △ボタン(リモコンではOPEN/CLOSEボタン)を押して、ディスクトレイを閉じます。

メモ

- ディスクトレイを静かに押しても、ディスクトレイは閉じません。ファイナライズされていないCD-RまたはCD-RWを入れた場合、再生が始まってしまうので、△ボタンを押して再生を停止してください。

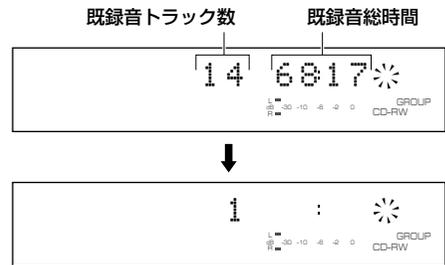
本機にディスクを入れると、本機内部でディスクの種類や容量を読み取ります。読み取り完了まで約10～15秒かかります。

その間、ディスプレイには以下のように表示されます。



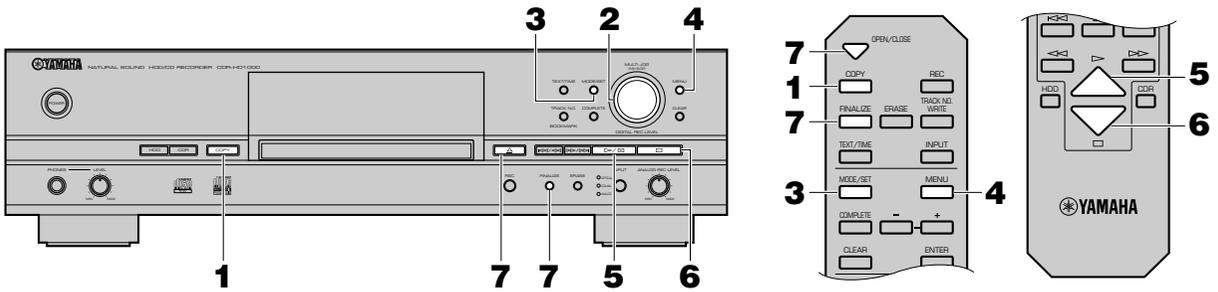
ディスク情報の読み取りが完了すると、ディスプレイには以下のように表示され、操作可能になります。

■ 未ファイナライズのCD-RまたはCD-RWの場合



■ 新品のCD-RまたはCD-RWの場合





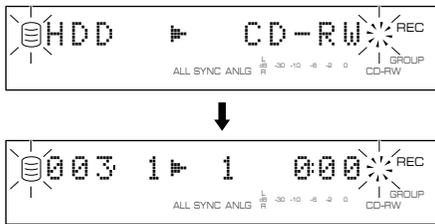
<コピーの開始>

メモ

- 本機は、高速でCD-R、CD-RWにコピーを行いますが、オーディオ用CD-R、CD-RWの中には、高速書き込みに対応していないものがあります。このような場合は、コピー速度を落としてコピーを行ってください。(P.30『Copy Speed(コピー速度の設定)』を参照ください。)

1. COPYボタンを2回押します。

ディスプレイには以下のように表示され、コピースタンバイ状態になります。この時点では、まだコピーは開始されません。



2. コピーしたいHDD上のグループを選択します。

MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)コピーしたいHDD上のグループを選択します。

3. コピーモードを選択します。

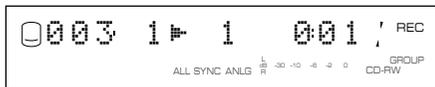
MODE/SETボタンを押すと、コピーモードの設定に入ります。詳しくはP.28を参照ください。

4. コピーメニューで詳細の設定をします。

MENUボタンを押すと、コピーメニューの設定に入ります。詳しくはP.29を参照ください。

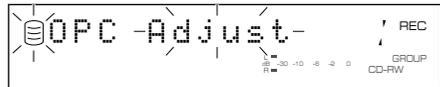
5. コピーを開始します。

▷/00ボタン(リモコンでは▷ボタン)を押すと、コピーが開始します。



メモ

- 入れたディスクの記録条件等によっては、OPCがはたらかず。調節済みまで約15秒かかります。



調節が完了し、上記のディスプレイ表示が消えると、自動的にコピーが始まります。

- コピー中、コピー経過時間の進みかたが変化することがありますが、本機内部でのデータ処理によるもので異常ではありません。

6. コピーが終了すると、自動的にHDDとCDの動作が停止します。コピーの途中で中止するには、□ボタンを押してください。

ご注意

- コピーの途中で□ボタンを押して中断した場合、中断前にコピーが完了しているデータのみCD-RまたはCD-RWに残ります。またDigital Move選択時(P.30参照)は、HDD上のコピー元データのうち、コピーを行ったトラックのデータ(途中でコピーを中断したデータを含む)は消去されます。

7. コピーしたデータに、コピー可能なタイトルデータ(ディスクタイトルなど)がある場合、TOCインジケータが点滅します。タイトルのコピーを行うには、ディスクトレイを開けずにファイナライズを行います(P.19参照)。

ファイナライズを行わずに、△ボタン(リモコンではOPEN/CLOSEボタン)を押すと、ディスプレイに"TEXT Save?"と表示されます。タイトルのコピーを行うには、ファイナライズを行います。ディスクトレイを開けるには、もう一度△ボタン(リモコンではOPEN/CLOSEボタン)を押します。

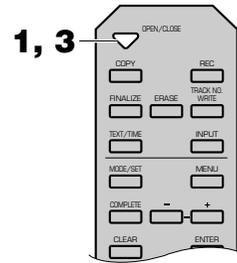
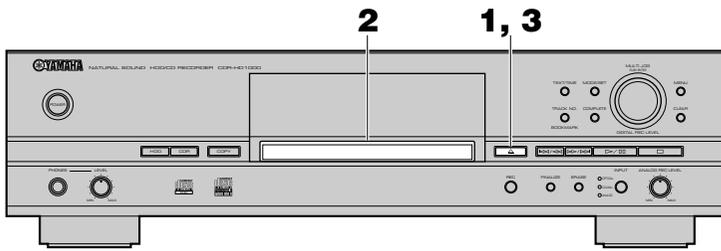
ご注意

- ファイナライズを行わずに、ディスクトレイを開けた場合、タイトルはコピーされません。

メモ

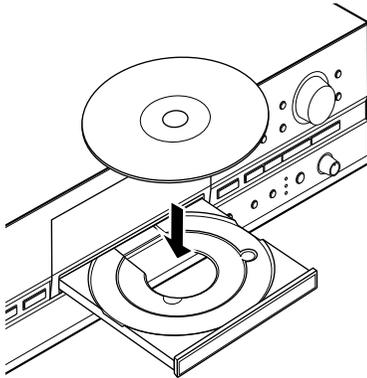
- フルオートシンクロコピーの場合、自動的にファイナライズが行われます。

CDの複製(Duplicate)

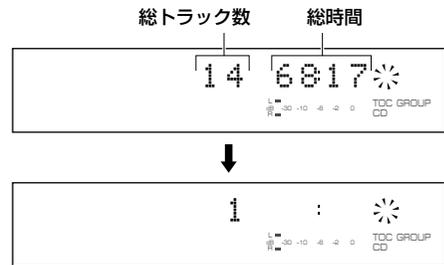


<ディスクの準備>

1. △ボタン(リモコンではOPEN/CLOSEボタン)を押して、ディスクトレイを開けます。
2. 複製したいCDをトレイに置きます。
ディスクトレイの溝にあわせ、ラベルがある面を上にしてCDを置きます。



ディスク情報の読み取りが完了すると、ディスプレイには以下のように表示され、操作可能になります。



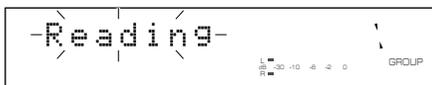
3. △ボタン(リモコンではOPEN/CLOSEボタン)を押して、ディスクトレイを閉じます。

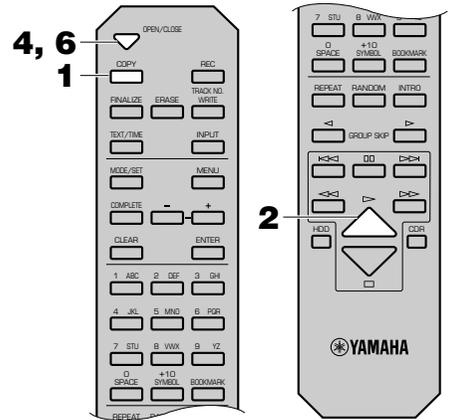
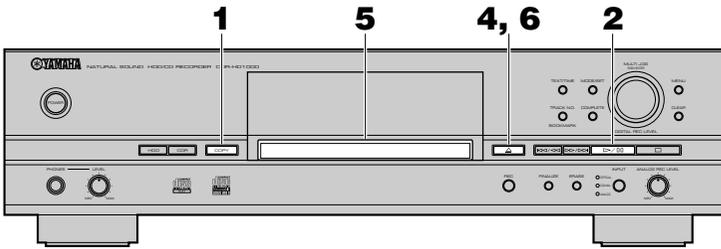
メモ

- ディスクトレイを静かに押しても、ディスクトレイは閉じません。この場合、CDの再生が始まってしまうので、□ボタンを押して再生を停止してください。

本機にディスクを入れると、本機内部でディスクの種類や容量を読み取ります。読み取り完了まで約10~15秒かかります。

その間、ディスプレイには以下のように表示されます。

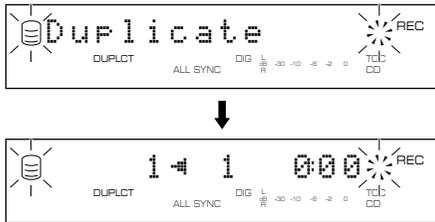




<複製の開始>

1. COPYボタンを3回押します。

ディスプレイには以下のように表示され、コピースタンバイ状態になります。この時点では、まだ複製は開始されません。



2. CDからHDDへのコピーを開始します。

▷/00ボタン(リモコンでは▷ボタン)を押すと、コピーが開始します。コピーは以下の条件で行われます。

- Copy Method: Digital Copy
- Copy Level: OdB
- Copy Speed: Best Effort

以上の条件についての詳細は、P.30を参照ください。

ご注意

- コピーの途中で◁ボタンを押して中断した場合、中断前にコピーが完了しているデータでも、HDD上に残りません。
- SCMSにより、コピーが禁止されているトラックはコピーされません。

3. CDからHDDへのコピーが終了すると、ディスプレイには以下のように表示されます。



4. △ボタン(リモコンではOPEN/CLOSEボタン)を押して、ディスクトレイを開けます。

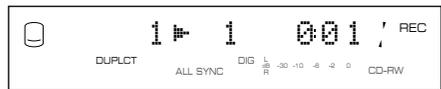
5. 新品のCD-RまたはCD-RWをトレイに置きます。

ご注意

- すでにトラックが録音されているCD-RまたはCD-RWへの追加録音はできません。

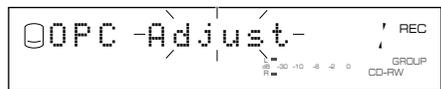
6. △ボタン(リモコンではOPEN/CLOSEボタン)を押して、ディスクトレイを閉じます。

ディスクトレイを閉じると、本機はディスク情報の読み取りを開始します。読み取り終了後、HDDからCDへのコピーが自動的に始まります。



メモ

- 高速書き込みに対応していないCD-R、CD-RWの場合、複製は正しく行われません。一度HDDにコピーしたあと、2倍速または1倍速でデジタルムーブを行ってください。(P.30参照)
- ディスク情報の読み取り後、入れたディスクの記録条件等によっては、OPCがはたらかきます。



調節が完了し、上記のディスプレイ表示が消えると、自動的にコピーが始まります。コピーは以下の条件で行われます。

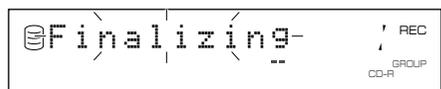
- Copy Method: Digital Move
- Copy Level: OdB
- Copy Speed: Best Effort

以上の条件についての詳細は、P.30を参照ください。

ご注意

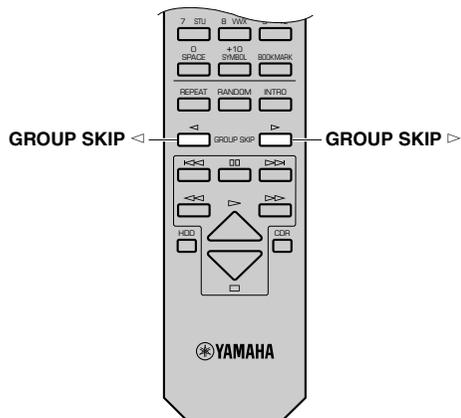
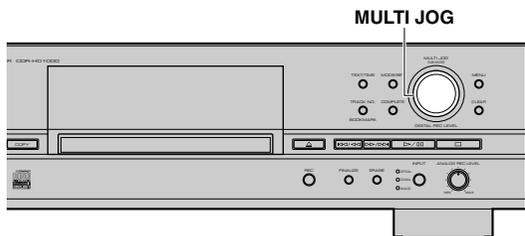
- コピーの途中で◁ボタンを押して中断した場合、中断前にコピーが完了しているデータのみCD-RまたはCD-RWに残ります。またHDD上のコピー元データはすべて消去されます。

7. コピーが終了すると、自動的にHDDの動作が停止し、CD-RまたはCD-RWのファイナライズを行います。

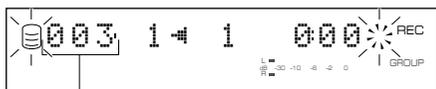


ファイナライズを終了すると、本機は停止します。

コピー先のディスクを選択する



HDDへのコピー時には、HDD上のどのディスクに録音するか選択できます。コピースタンバイ状態でMULTI JOGノブを回して(リモコンではGROUP SKIP<ボタンまたはGROUP SKIP>ボタンを押して)、コピー先のディスクナンバーを選択してください。

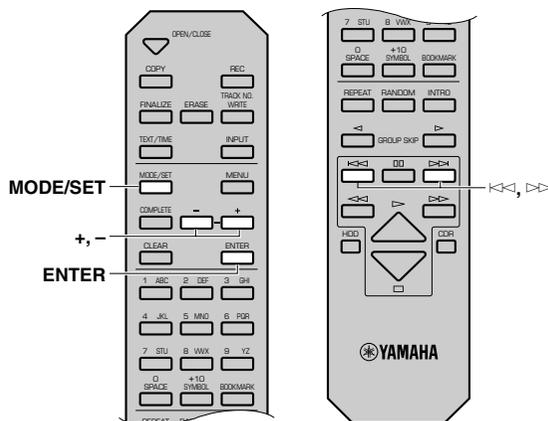
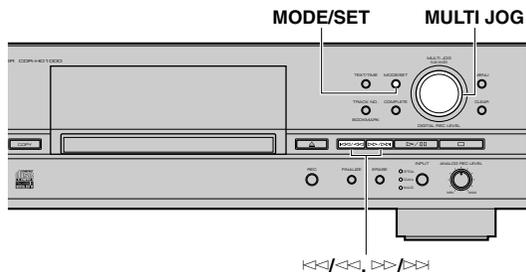


コピー先のディスクナンバー

メモ

- この選択をしない場合は、HDD上の空いているディスクのうち、ディスクナンバーが最小のディスクにコピーされます。
- すでに曲が録音されているディスクを選択した場合、そのディスクの最終トラック以降へ追加記録されます。

コピーモードを設定する



本機には多様なコピーモードがあります。目的にあわせて適切なモードを選択してください。

1. コピースタンバイ状態でMODE/SETボタンを押します。コピーモードの選択に入ります。
2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、コピーモードを選択します。以下のコピーモードから選択してください。

■ All Synchro(全曲シンクロコピー)

ソース側の再生と同期して全曲のコピーを行います。曲間を検出して自動的にトラックマークがつかまります。

■ Multi Sync.(マルチシンクロコピー)

ソース側の再生と同期して指定した曲数をコピーします。曲数は最小1曲から最大99曲の範囲で指定できます。

■ Full Auto(フルオートシンクロコピー)

(CD-RまたはCD-RWへのコピー時のみ)
全曲シンクロコピー後、自動的にファイナライズされて、CD-RはすぐCDとして使用できます。

3. MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)、コピーモードを確定します。"Multi Sync."を確定した場合は、以下の手順に従い、詳細の設定をしてください。

■ Multi Sync.を確定した場合

ディスプレイには以下のように表示され、コピーする曲数の指定に入ります。

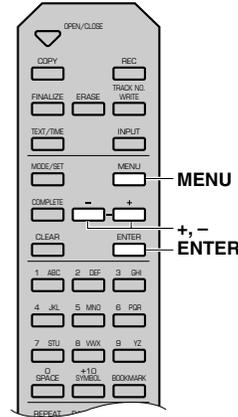
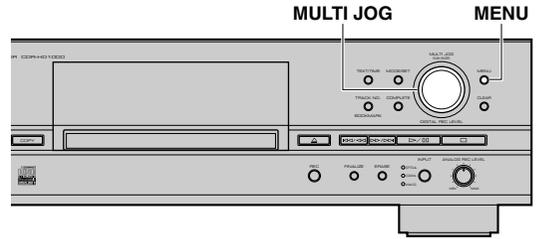


- MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、コピーする曲数を指定します。最小1曲から最大99曲の範囲で指定できます。
- MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)、確定します。
- コピーを開始するグループまたは曲を指定します。
 - CDからHDDへのコピー時は、◀◀/◀◀ボタン(リモコンでは◀◀ボタン)または▶▶/▶▶ボタン(リモコンでは▶▶ボタン)を押して、コピーを開始する曲を指定します。
 - HDDからCD-RまたはCD-RWへのコピー時は、MULTI JOGノブを回して、コピーを開始するグループおよび曲を指定します。GROUPインジケータが点灯しているときはグループの指定、TRACKインジケータが点灯しているときは曲の指定がそれぞれ可能です。MULTI JOGノブを押して、インジケータの切り替えをしてください。

メモ

- この選択をしない場合は、常に全曲シンクロコピーされます。
- CDを複製する場合は、コピーモードの選択はできません。複製時のCDからHDDへのコピーは全曲シンクロコピーで、HDDからCDへはコピーはフルオートシンクロコピーで行われます。

コピーメニューを設定する



本機では、コピー時の詳細設定をコピーメニューにて設定することができます。以下の設定手順に従い、設定を行ってください。

- コピースタンバイ状態でMENUボタンを押します。コピーメニューの設定に入ります。
- MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、設定したい項目を選択します。設定できる項目は以下の3つです。
 - Copy Method(コピー方式の設定)



- Copy Level(コピーレベルの設定)



- Copy Speed(コピー速度の設定)



- MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)、設定したい項目を確定します。

4. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、各項目のパラメーターの選択、設定を行ってください。
各項目のパラメーターの選択、設定については、以下の各項目ごとの説明を参照してください。
5. 設定が終了したら、MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)、設定を確定します。
6. メニューを終了させるには、MENUボタンを押します。
コピースタンバイ状態に戻ります。

メモ

ここで設定されたCopy Level以外のメニュー内容は記憶されて、次のコピー時にも適用されます。

■ Copy Method(コピー方式の設定)

コピーの方式を設定します。正しく設定しないと、コピーができない場合がありますので注意してください。

<CDからHDDへのコピーの場合>

初期設定: Digital Copy

Digital Copy

常にデジタルコピーを行います。SCMS(P.11参照)により、デジタルコピーが禁止されているトラックは、コピーができません。

Auto Dig/Anlg

自動的にデジタルコピーを行うか、アナログコピーを行うかをトラックごとに切り替えます。SCMS(P.11参照)により、デジタルコピーが禁止されているトラックは、アナログコピーを行い、禁止されていないトラックはデジタルコピーを行います。

Analog Copy

常にアナログコピーを行います。

<HDDからCD-RまたはCD-RWへのコピーの場合>

初期設定: Analog Copy

Analog Copy

常にアナログコピーを行います。

Digital Move

HDDからCDへ、データの移動を行います。したがって、この方式でCD-RまたはCD-RWに移動されたグループまたはトラックのデータはHDD上から消去されます。

Auto Dig/Anlg

自動的にデジタルコピーを行うか、アナログコピーを行うかをトラックごとに切り替えます。SCMS(P.11参照)により、デジタルコピーが禁止されているトラックは、アナログコピーを行い、禁止されていないトラックはデジタルコピーを行います。

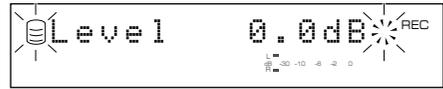
メモ

アナログコピー時は、若干レベルが下がってコピーされる場合があります。

■ Copy Level(コピーレベルの設定)

コピー時の音声レベルを設定します。通常、調節は不要ですが、必要に応じて調節することができます。

P.29『コピーメニューの設定』の手順3で"Copy Level"を確定すると、ディスプレイには以下のように表示されます。



1. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、レベルを調整します。
-12dBから+12dBの範囲で、0.4dBステップで調整できます。レベルを0dB以外に設定すると、ディスプレイにVARインジケータが点灯します。



2. MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)、コピーレベルを確定します。

メモ

- ・コピー中はレベルの調整ができません。
- ・最大音量時にピークレベルメーターの赤色の部分が点灯する場合は、いったんコピーを停止して、レベルを調整してから再度コピーをしてください。



■ Copy Speed(コピー速度の設定)

コピーする速度の設定を行います。

初期設定: Best Effort

Best Effort

「Copy Method(コピー方式の設定)」での設定およびディスクの条件に応じた最大速度でコピーを行います。

- ・Digital Copy設定時: 10倍速
- ・Auto Dig/Anlg設定時: 2倍速
- ・Digital Move設定時: 8倍速(CD-R)、4倍速(CD-RW)
- ・Analog Copy設定時: 2倍速

1x Copy

「Copy Method(コピー方式の設定)」での設定にかかわらず、等倍速でコピーを行います。

2x Copy

「Copy Method(コピー方式の設定)」での設定にかかわらず、2倍速でコピーを行います。

メモ

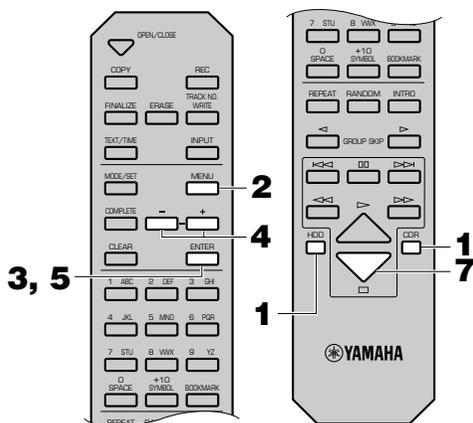
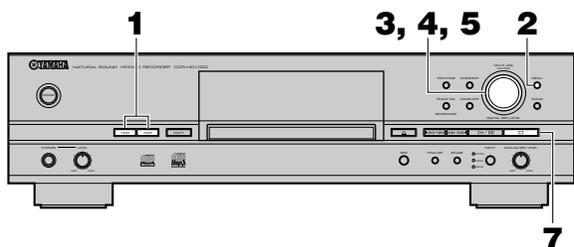
- ・Best Effortを選択した場合でも、ディスクの傷、よごれ等により、自動的にコピー速度が低下する場合があります。
- ・高速書き込みに対応していないCD-RまたはCD-RWの場合は、2x Copyまたは1x Copyを選択してください。

アルバム編集について

本機ではHDD(またはCD)に記録されているトラックから、お好みのトラックを選択して、アルバムとして記憶させておくことができます。また、一度作成されたアルバムはあとで編集することができます。以下、アルバム編集の基本手順を説明します。

各項目の詳細については、項目別の説明を参照ください。

新規アルバムを作成するには	P.32『Album New』
すでに作成されているアルバムを編集するには	P.32『Edit Stored』
他のグループをアルバムとしてコピーするには	P.33『Album Copy』
アルバムナンバーをつけかえるには	P.34『Album Rename』
アルバムを削除するには	P.34『Album Delete』
アルバムナンバーの前に詰めるには	P.35『Album Pack』
アルバムにタイトルをつけるには	P.35『Album Title』



4. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、編集メニュー項目を選択します。編集メニュー項目は以下のとおりです。

- Album New
- Edit Stored
- Album Copy(HDD選択時のみ)
- Album Rename(HDD選択時のみ)
- Album Delete
- Album Pack(HDD選択時のみ)
- Album Title(HDD選択時のみ)

5. MULTI JOGノブを押すと(リモコンではENTERボタンを押すと)、選択した項目が確定され、実際の編集作業に入ります。

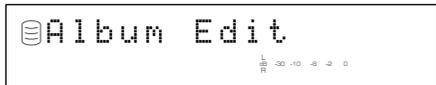
6. 項目別の説明(P.32~36)に従い、編集をします。

メモ

- 編集の途中でMENUボタンを押すと入力操作が無効になり、ひとつ前の表示に戻ります。
- 編集の途中で□ボタンを押すと入力操作がすべて無効になり、停止状態時の表示に戻ります。
- 7. すべての編集が完了したら、□ボタンを押します。ディスプレイが停止状態時の表示になります。**

1. HDDボタンまたはCDRボタンを押して、編集の対象となるドライブを選択します。

2. 停止状態でMENUボタンを押すと、ディスプレイがメニュー項目選択の表示になります。



3. MULTI JOGノブを押すと(リモコンではENTERボタンを押すと)、ディスプレイが編集メニュー項目選択の表示になります。

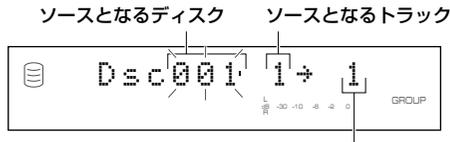
Album New

HDDまたはCDに記録されているトラックから、お好みのトラックを選択して、アルバムを作成します。

編集対象:HDD、CD

1. P.31『アルバム編集について』の手順4で"Album New"を選択し、確定します。

ディスプレイには以下のように表示されます(表示はHDD選択時)。



作成するアルバムのトラック

ソースとなるディスクの番号が点滅します(CD選択時にはこの表示がありません)。

2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、ソースとなるディスクを選択します。
3. MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)、ソースとなるディスクを確定します。
ソースとなるトラックの番号が点滅します。

メモ

- CDを編集対象として選択している場合には、手順2、3はありません。

4. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、ソースとなるトラックを選択します。
5. MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)、ソースとなるトラックを確定します。
作成しているアルバムのトラックナンバーが繰り上がり、手順1の表示に戻ります。繰り返し、同様の手順でディスクとトラックを選択します。

メモ

- 誤って選択内容を確定したときは、CLEARボタンを押して確定内容をキャンセルし、やり直してください。

6. COMPLETEボタンを押します。

これで、指定したトラックが新規アルバムとして記録されます。

メモ

- CDRドライブ選択時で、すでにアルバムが作成されている場合に新規アルバムを作成すると、すでにあったアルバムは新規アルバムの内容で上書きされます。

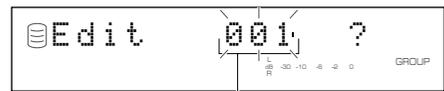
Edit Stored

すでに作成されているアルバムにトラックを追加したり、アルバムからトラックを削除します。

編集対象:HDD、CD

1. P.31『アルバム編集について』の手順4で"Edit Stored"を選択し、確定します。

ディスプレイには以下のように表示されます(表示はHDD選択時)。

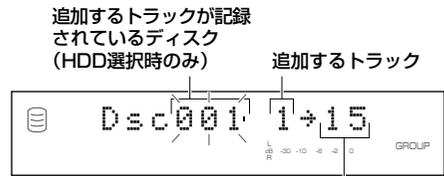


編集するアルバム

2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、編集するアルバムを選択します。

3. MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)、編集するアルバムを確定します。

ディスプレイには以下のように表示されます(表示はHDD選択時)。



追加先のトラックおよび削除するトラック

メモ

- CDを編集対象として選択している場合には、手順2、3はありません。

■新しくトラックを追加する場合

1. <<</><<<ボタンまたは>>>/>>>ボタンを押して、追加先のトラックを選択します。

2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、追加するトラックが記録されているディスクを選択します。

3. MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)、追加するトラックが記録されているディスクを確定します。

メモ

- CDを編集対象として選択している場合には、手順2、3はありません。

4. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、追加するトラックを選択します。
5. MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)、追加するトラックを確定します。
6. ひきつづきトラックを追加する場合は、手順1から同様の操作を繰り返します。
7. COMPLETEボタンを押します。
これで、指定したトラックがアルバムに追加されます。

■ アルバムからトラックを削除する場合

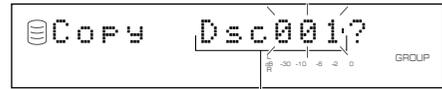
1. <<</<<<ボタンまたは>>>/>>>ボタンを押して、削除するトラックを選択します。
2. CLEARボタンを押します。
メモ
・トラックナンバーは自動的に前につまります。
3. ひきつづきトラックを削除する場合は、手順1から同様の操作を繰り返します。
4. COMPLETEボタンを押します。
これで、指定したトラックがアルバムから削除されます。

Album Copy

HDD上のディスク、他のアルバム、ブックマークを新規アルバムとしてまるごとコピーします。

編集対象: HDDのみ

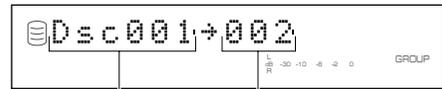
1. P.31「アルバム編集について」の手順4で"Album Copy"を選択し、確定します。
ディスプレイには以下のように表示されます。



コピー元グループ

コピー元グループの番号が点滅します。

2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、コピー元のグループを選択します。
ディスク→アルバム→ブックマークの順番でコピー元グループが切り替わります。
3. MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)、コピー元グループを確定します。
ディスプレイ表示が左スクロールし、コピー元グループの番号、コピー先アルバムの番号が表示されます。



コピー元グループ

コピー先アルバム

メモ

- ・コピー先アルバムの番号は、使われていない番号のうち最小の番号が当てられます。
 - ・誤って選択内容を確定したときは、CLEARボタンを押して確定内容をキャンセルし、やり直してください。
4. COMPLETEボタンを押します。
これで指定したグループが新規アルバムとしてコピーされます。

Album Rename

作成されたアルバムを移動させ、番号をつけかえます。

編集対象: HDDのみ

1. P.31『アルバム編集について』の手順4で"Album Rename"を選択し、確定します。

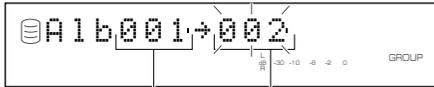
ディスプレイには以下のように表示されます。



移動するアルバム

移動するアルバムの番号が点滅します。

2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、移動するアルバムを選択します。
3. MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)、移動するアルバムを確定します。
ディスプレイ表示が左スクロールし、移動するアルバムの番号、移動先アルバムの番号が表示されます。



移動するアルバム

移動先アルバム

4. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、移動先アルバムを選択します。
5. MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)、移動先アルバムを確定します。

メモ

- 誤って選択内容を確定したときは、CLEARボタンを押して確定内容をキャンセルし、やり直してください。

6. COMPLETEボタンを押します。
これで、指定した移動先に、指定したアルバムが移動されます。

メモ

- 移動先アルバムの番号が使用されている場合には、その番号がついていたアルバム以降がひとつずつ後ろにずれます。ただし、後ろに空き番号がある場合には、その前までのアルバムが後ろにずれます。
- 移動したアルバムが使用していた番号は、空き番号となります。

Album Delete

作成したアルバムを削除します。

編集対象: HDD, CD

1. P.31『アルバム編集について』の手順4で"Album Delete"を選択し、確定します。

ディスプレイには以下のように表示されます(表示はHDD選択時)。



削除するアルバム

削除するアルバムの番号が点滅します(CD選択時には、この表示はありません)。

2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、削除したいアルバムを選択します。
3. MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)、削除したいアルバムを確定します。

メモ

- CDを編集対象として選択している場合には、手順2、3はありません。
- 誤って選択内容を確定したときは、CLEARボタンを押して確定内容をキャンセルし、やり直してください。

4. COMPLETEボタンを押します。
これで、指定したアルバムが削除されます。

メモ

- HDDを編集対象として選択している場合、削除したアルバムが使用していた番号は空き番号となります。
- CDを編集対象として選択している場合、ディスプレイを開いたり、本機の電源を切ると、アルバムの情報は消去されず。

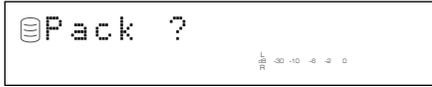
Album Pack

アルバムナンバーのつけかえや、アルバムの削除により発生した空き番号をつめてアルバムを整理します。

編集対象: HDDのみ

1. P.31『アルバム編集について』の手順4で"Album Pack"を選択し、確定します。

ディスプレイには以下のように表示されます。



2. COMPLETEボタンを押します。

これで、アルバムの空き番号が前につまって整理されます。

Album Pack前

1	空き	3	4	空き	6
1	2	3	4	5	6

Album Pack後(空き番号がなくなる)

Album Title

作成したアルバムにタイトルをつけます。

編集対象: HDDのみ

1. P.31『アルバム編集について』の手順4で"Album Title"を選択し、確定します。

ディスプレイには以下のように表示されます。



タイトルをつけるアルバム

タイトルをつけるアルバムの番号が点滅します。

2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、タイトルをつけるアルバムを選択します。

3. MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)、タイトルをつけるアルバムを確定します。ディスプレイには以下のように表示されます。



カーソルが点滅します。

メモ

- 選択したアルバムにすでにタイトルがついている場合は、そのタイトルが表示されます。

4. MULTI JOGノブ、またはリモコンの英/数字ボタンを使って、タイトルを入力します。

■ MULTI JOGノブを使ってタイトルを入力する

1. MULTI JOGノブを右に回します。

右に回すと、文字が出てきます。文字はアルファベット大文字、アルファベット小文字、数字、記号の順番に並んでいますので、適切なものを選択してください。

2. MULTI JOGノブを押して、選択した文字を確定します。カーソルが次の位置へ移動します。同様の操作を繰り返してタイトルをつけてください。最大32文字まで入力できます。

3. すべての文字の入力が終了したら、COMPLETEボタンを押します。

これで、指定したアルバムにタイトルがつけます。

■ リモコンの英/数字ボタンを使ってタイトルを入力する

1. 入力したい文字を、リモコンの英/数字ボタンにより選択します。

1回押すごとに、文字はアルファベット大文字、アルファベット小文字、数字の順番に変わります。スペースはSPACEボタンを、記号はSYMBOLボタンを押して選択します。

2. 別の英/数字ボタンを押して、次の文字を選択します。カーソルが自動的に次の位置に移動します。同じボタンを使う場合には、<>ボタンを押してカーソルを移動します。

3. すべての文字の入力が終了したら、COMPLETEボタンを押します。

これで、指定したアルバムにタイトルがつけます。

メモ

- すでに文字が入力されている位置にカーソルを移動し、文字を新規に入力、確定すると、もともとあった文字以降が後ろへずれて、新規に入力した文字が挿入されます。

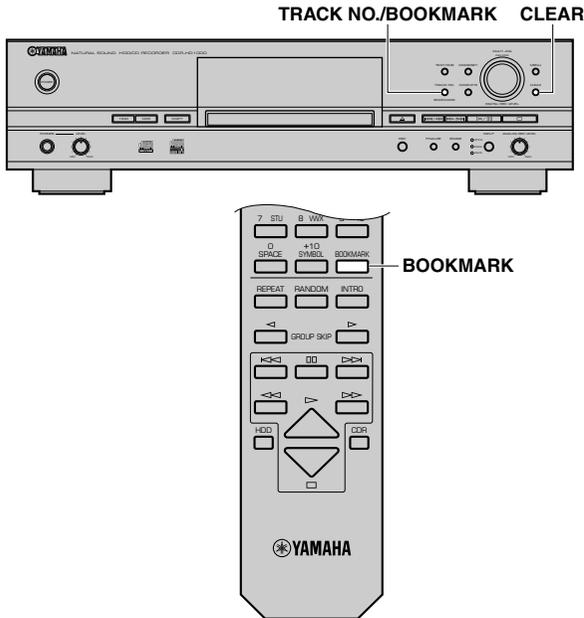
■ 入力した文字を修正するには

<<</<<ボタンまたは>>>/>>ボタン(リモコンでは<<<ボタンまたは>>>ボタン)を押してカーソルを修正したい文字の位置に移動し、CLEARボタンを押してその文字を消してから、新規に文字を入力し、確定してください。

ブックマークについて

本機ではHDDに記録されたトラックを再生しながら、そのトラックに一時的な印(ブックマーク)をつけることができます。ブックマークをつけたトラックは演奏順のリストとして保存されますので、聞きたいトラックをすぐに再生したり、アルバムを作成するときに便利です。

■ ブックマークをつけるには



トラックの再生中に、TRACK NO./BOOKMARKボタン(リモコンではBOOKMARKボタン)を押します。ディスプレイにBKMARKインジケータが点灯します。



メモ

- 再生中、停止中にかかわらず、ブックマークがつけられたトラックが選択されているときは、常にBKMARKインジケータが点灯します。
- ブックマークをつけたトラックのリストは、ひとつしか保存できません。複数保存したいときは、アルバムにコピーして保存してください(P.33参照)。

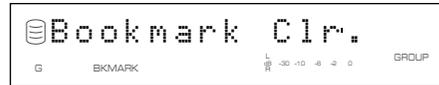
■ ブックマークをつけた曲を再生するには
P.58を参照ください。

■ ブックマークを解除するには

ブックマークをつけたトラックの再生中に、TRACK NO./BOOKMARKボタン(リモコンではBOOKMARKボタン)を押すと、BKMARKインジケータが消灯し、ブックマークが解除されます。

■ すべてのブックマークを解除するには

停止中に本体のTRACK NO./BOOKMARKボタンを押しながらCLEARボタンを押すとディスプレイに以下の表示が出て、すべてのブックマークが解除されます。

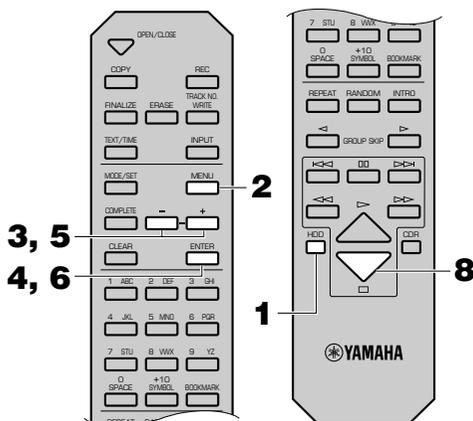
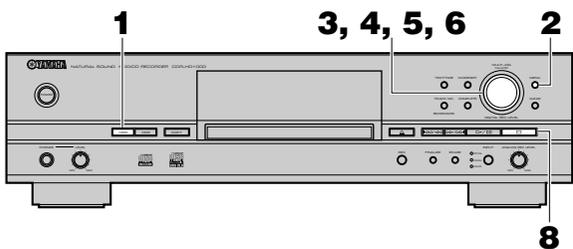


トラック編集について

本機ではHDDに記録されたトラックに対して、様々な編集をすることができます。以下、トラック編集の基本手順を説明します。

各項目の詳細については、項目別の説明を参照ください。

トラックナンバーをつけかえるには	P.38 『Track Rename』
トラックの開始位置を調節するには	P.38 『Track Adjust』
トラックを消去するには	P.39 『Track Erase』
トラックの一部を消去するには	P.40 『Part Erase』
連続したトラックをつなげるには	P.41 『Track Combine』
ひとつのトラックをふたつに分割するには	P.42 『Track Divide』
トラックナンバーを前に詰めるには	P.43 『Track Pack』
トラックの先頭にフェードインを付加するには	P.43 『Add Fade In』
トラックの末尾にフェードアウトを付加するには	P.44 『Add Fade Out』
トラックにタイトルをつけるには	P.45 『Track Title』



4. MULTI JOGノブを押すと(リモコンではENTERボタンを押すと)、ディスプレイが編集メニュー項目選択の表示になります。

5. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、編集メニュー項目を選択します。編集メニュー項目は以下のとおりです。

- Track Rename
- Track Adjust
- Track Erase
- Part Erase
- Track Combine
- Track Divide
- Track Pack
- Add Fade In
- Add Fade Out
- Track Title

6. MULTI JOGノブを押すと(リモコンではENTERボタンを押すと)、選択した項目が確定され、実際の編集作業に入ります。

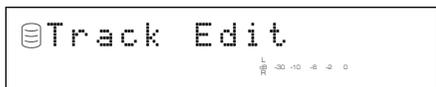
7. 項目別の説明(P.38~45)に従い、編集をします。

メモ

- 編集の途中でMENUボタンを押すと入力操作が無効になり、ひとつ前の表示に戻ります。
- 編集の途中でOKボタンを押すと入力操作がすべて無効になり、停止状態時の表示に戻ります。

8. すべての編集が完了したら、OKボタンを押します。ディスプレイが停止状態時の表示になります。

- 1.** HDDボタンを押して、HDDを選択します。
- 2.** 停止状態でMENUボタンを押すと、ディスプレイがメニュー項目選択の表示になります。
- 3.** MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、『Track Edit』を選択します。



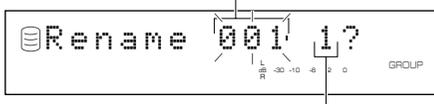
Track Rename

トラックを移動させ、番号をつけかえます。

1. P.37『トラック編集について』の手順5で"Track Rename"を選択し、確定します。

ディスプレイには以下のように表示されます。

移動するトラックが記録されているディスク

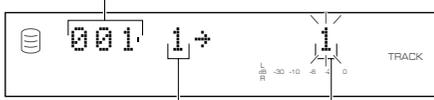


移動するトラック

移動するトラックが記録されているディスクの番号が点滅します。

2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、移動するトラックが記録されているディスクを選択します。
3. MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)、移動するトラックが記録されているディスクを確定します。
移動するトラック番号が点滅します。
4. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、移動するトラックを選択します。
5. MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)、移動するトラックを確定します。
ディスプレイ表示が左スクロールし、移動するトラックが記録されているディスクの番号、移動するトラックの番号、移動先トラックの番号が表示されます。

移動するトラックが記録されているディスク



移動するトラック

移動先トラック

6. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、移動先トラックを選択します。
7. MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)、移動先トラックを確定します。

メモ

- 誤って選択内容を確認したときは、CLEARボタンを押して内容をキャンセルし、やり直してください。

8. COMPLETEボタンを押します。

これで、指定した移動先に、指定したトラックが移動されます。

メモ

- 移動先トラックの番号が使用されている場合には、その番号がついていたトラック以降がひとつずつ後ろにずれます。ただし、後ろに空き番号がある場合には、その前までのトラックが後ろにずれます。
- 移動したトラックが使用していた番号は、空き番号となります。

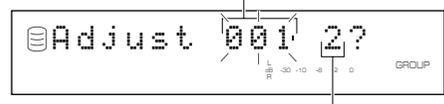
Track Adjust

トラックの開始位置を前後に移動して、調節します。

1. P.37『トラック編集について』の手順5で"Track Adjust"を選択し、確定します。

ディスプレイには以下のように表示されます。

調節するトラックが記録されているディスク



調節するトラック

調節するトラックが記録されているディスクの番号が点滅します。

2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、調節するトラックが記録されているディスクを選択します。
3. MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)、調節するトラックが記録されているディスクを確定します。
調節するトラックの番号が点滅します。
4. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、調節するトラックを選択します。
5. MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)、調節するトラックを確定します。

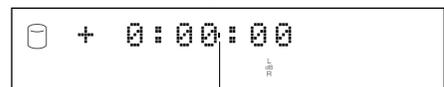
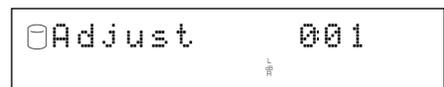
メモ

- 手順4、5で選択および確定したトラックの前に、トラックがない場合はディスプレイに"No Previous"と表示され、開始位置の調節ができません。



6. >/00ボタン(リモコンでは>ボタン)を押すと、調節するトラックが再生されます。

ディスプレイに"Adjust"の文字と、移動時間量が交互に表示されます。



カーソル

7. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、移動時間を調節します。

移動時間量は、「分:秒:フレーム」の単位で調節が可能です。(フレーム:秒以下の単位で、75フレームで1秒となります。)秒表示の横のカーソルを<<</>>>ボタンまたは<>>/<<<ボタンで調節したい部分に合わせてください。

8. MULTI JOGノブを押すと(リモコンではENTERボタンを押すと)、手順7で調節した移動時間量に従って、仮に移動した開始位置をサーチし、その位置からディスクの最後までを繰り返し再生します。

移動した開始位置が適切な場合は、次の手順に進んでください。ひきつづき調節が必要な場合は、手順7、8の操作を繰り返して行ってください。

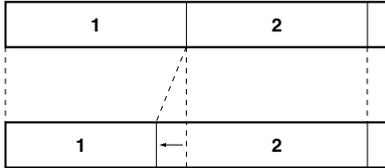
メモ

- 調節を取り消したいときには、CLEARボタンを押すと、調節前の状態に戻ります。
- 誤って選択内容を確定したときは、CLEARボタンを押して内容をキャンセルし、やり直してください。

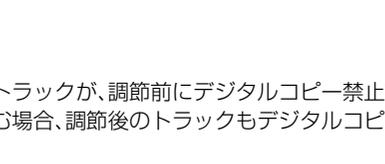
9. COMPLETEボタンを押します。

これで、新しい開始位置が確定します。

Track Adjust前



Track Adjust後(トラック2の開始位置を前に移動した場合)



メモ

- 調節後のトラックが、調節前にデジタルコピー禁止であった部分を含む場合、調節後のトラックもデジタルコピー禁止となります。
- 調節するトラックとその前のトラックでエンファシスが異なる場合、調節するトラックのエンファシスが優先されます。

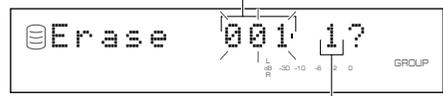
Track Erase

指定したトラックを消去します。

1. P.37『トラック編集について』の手順5で"Track Erase"を選択し、確定します。

ディスプレイには以下のように表示されます。

消去するトラックが記録されているディスク



消去するトラック

消去するトラックが記録されているディスクの番号が点滅します。

2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、消去するトラックが記録されているディスクを選択します。

3. MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)、消去するトラックが記録されているディスクを確定します。

消去するトラックの番号が点滅します。

4. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、消去するトラックを選択します。

5. MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)、消去するトラックを確定します。

メモ

- 誤って選択内容を確定したときは、CLEARボタンを押して内容をキャンセルし、やり直してください。
- 確定したトラックを確認したいときは、>/=>ボタン(リモコンでは>ボタン)を押すと、そのトラックを繰り返し再生します。

6. COMPLETEボタンを押します。

これで、指定したトラックが消去されます。

メモ

- 消去したトラックが使用していた番号は空き番号となります。

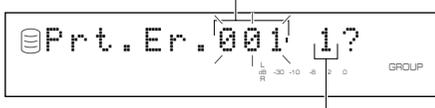
Part Erase

指定したトラックの一部分を消去します。

1. P.37『トラック編集について』の手順5で"Part Erase"を選択し、確定します。

ディスプレイには以下のように表示されます。

部分消去するトラックが記録されているディスク

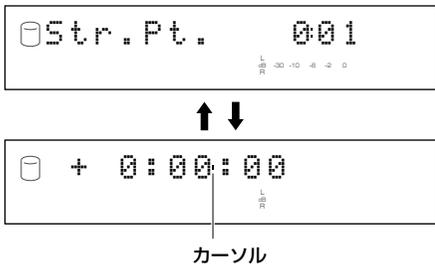


部分消去するトラックが記録されているディスクの番号が点滅します。

2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、部分消去するトラックが記録されているディスクを選択します。
3. MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)、部分消去するトラックが記録されているディスクを確定します。
部分消去するトラックの番号が点滅します。
4. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、部分消去するトラックを選択します。
5. MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)、部分消去するトラックを確定します。

■ 部分消去の開始位置の設定

1. ▷/00ボタン(リモコンでは▷ボタン)を押すと、部分消去するトラックが再生されます。
ディスプレイに"Str.Pt."の文字と、部分消去の開始位置が交互に表示されます。



2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、部分消去の開始位置を設定します。
部分消去の開始位置は、「分:秒:フレーム」の単位で設定が可能です。秒表示の横のカーソルを◀◀/◀◀ボタンまたは▶▶/▶▶ボタンで設定したい部分に合わせてください。

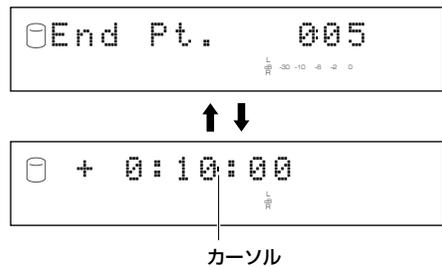
3. MULTI JOGノブを押すと(リモコンではENTERボタンを押すと)、手順2で設定した部分消去の開始位置から数秒前の位置をサーチし、その位置と開始位置の間を繰り返し再生します。

部分消去の開始位置が適切な場合は、次の手順に進んでください。ひきつづき設定が必要な場合は、手順2、3の操作を繰り返し行ってください。

4. MODE/SETボタンを押して、部分消去の開始位置を確定します。

■ 部分消去の終了位置の設定

「部分消去の開始位置の設定」の手順4のあと、ディスプレイに"End.Pt."の文字と、部分消去を終了位置が交互に表示されます。



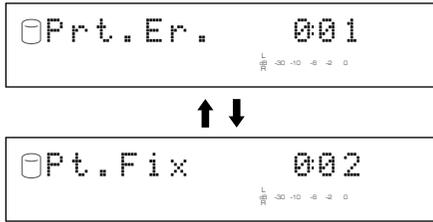
メモ

- 部分消去の終了位置は、開始位置の10秒後に仮設定されています。

1. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、部分消去の終了位置を設定します。
部分消去の終了位置は、「分:秒:フレーム」の単位で設定が可能です。秒表示の横のカーソルを◀◀/◀◀ボタンまたは▶▶/▶▶ボタンで設定したい部分に合わせてください。
2. MULTI JOGノブを押すと(リモコンではENTERボタンを押すと)、手順1で設定した部分消去の終了位置をサーチし、終了位置とそこから数秒後の位置の間を繰り返し再生します。
部分消去の終了位置が適切な場合は、次の手順に進んでください。ひきつづき設定が必要な場合は、手順1、2の操作を繰り返し行ってください。

3. MODE/SETボタンを押して、部分消去の終了位置を確定します。

ディスプレイに"Prt.Er."の文字と、"Pt.Fix"の文字が交互に表示されます。



終了位置を確定すると、開始位置の前約5秒間と終了位置の後ろ約5秒間を連続して繰り返し再生します。

ご注意

- 開始位置の前約5秒間と終了位置の後ろ約5秒間とのつなぎ目で、一瞬音が途切れて再生されることがありますが、手順4で部分削除の区間を確定したあとのトラックは正常に再生されます。

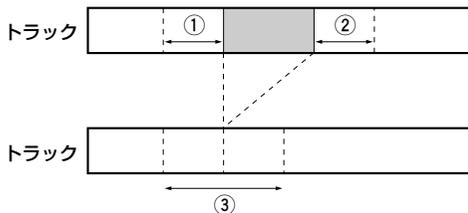
終了位置の設定を変更したいときは、CLEARボタンを1回押すと、終了位置の設定まで戻ります。
開始位置の設定を変更したいときは、CLEARボタンを2回押すと、開始位置の設定まで戻ります。

4. COMPLETEボタンを押します。

これで指定した区間が削除されます。

ご注意

- トラックの最短時間は4秒です。したがって部分消去により、4秒以下の曲をつくることはできません。



■: 消去したい部分

- ① 開始位置設定時のリピート再生区間
- ② 終了位置設定時のリピート再生区間
- ③ 終了位置確定後のリピート再生区間

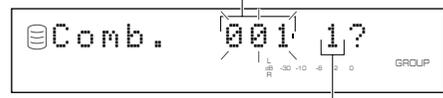
Track Combine

連続したトラックをつなげて、ひとつのトラックにします。

1. P.37『トラック編集について』の手順5で"Track Combine"を選択し、確定します。

ディスプレイには以下のように表示されます。

先頭部分となるトラックが記録されているディスク



先頭部分となるトラック

先頭部分となるトラックが記録されているディスクの番号が点滅します。

2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、先頭部分となるトラックが記録されているディスクを選択します。

3. MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)、先頭部分となるトラックが記録されているディスクを確定します。

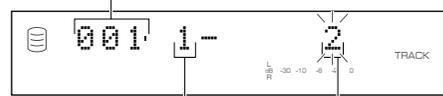
先頭部分となるトラックの番号が点滅します。

4. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、先頭部分となるトラックを選択します。

5. MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)、先頭部分となるトラックを確定します。

ディスプレイ表示が左スクロールし、先頭部分となるトラックが記録されているディスクの番号、先頭部分となるトラックの番号、末尾部分となるトラックの番号が表示されます。

先頭部分となるトラックが記録されているディスク



先頭部分となるトラック

末尾部分となるトラック

6. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、末尾部分となるトラックを選択します。

7. MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)、末尾部分となるトラックを確定します。

8. COMPLETEボタンを押します。

これで指定したトラックがひとつのトラックになります。

メモ

- 先頭部分となるトラック以降の、指定したトラックが使用していた番号は空き番号となります。
- つながったトラックのタイトルは、先頭部分のトラックのタイトルがそのまま有効となります。
- 結合するトラックの中に、ひとつでもデジタルコピー禁止のトラックがある場合、結合後のトラックはコピー禁止となります。
- エンファシスが異なるトラックを結合した場合、先頭トラックのエンファシスが結合後のトラック全体に反映されます。

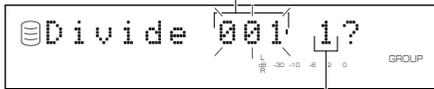
Track Divide

ひとつのトラックを指定した位置で分割して、ふたつのトラックにします。

1. P.37『トラック編集について』の手順5で"Track Divide"を選択し、確定します。

ディスプレイには以下のように表示されます。

分割するトラックが記録されているディスク



分割するトラック

分割するトラックが記録されているディスクの番号が点滅します。

2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、分割するトラックが記録されているディスクを選択します。

3. MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)、分割するトラックが記録されているディスクを確定します。

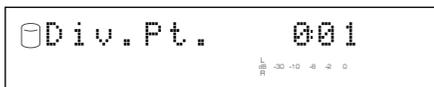
分割するトラックの番号が点滅します。

4. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、分割するトラックを選択します。

5. MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)、分割するトラックを確定します。

6. ▷/00ボタン(リモコンでは▷ボタン)を押すと、分割するトラックが再生されます。

ディスプレイに"Div.Pt."の文字と、分割位置が交互に表示されます。



カーソル

7. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、分割位置を設定します。

分割位置は、「分:秒:フレーム」の単位で設定が可能です。秒表示の横のカーソルを◀◀/◀◀ボタンまたは▶▶/▶▶ボタンで設定したい部分に合わせてください。

8. MULTI JOGノブを押すと(リモコンではENTERボタンを押すと)、手順7で設定した分割位置から数秒前の位置をサーチし、その位置と分割位置の間を繰り返し再生します。分割位置が適切な場合は、次の手順に進んでください。ひきつづき設定が必要な場合は、手順7、8の操作を繰り返し行ってください。

9. COMPLETEボタンを押します。

これで、指定したトラックを、指定した分割位置から分割します。

ご注意

- トラックの最短時間は4秒です。したがって分割により、4秒以下の曲をつくることはできません。
- ひとつのディスクに記録できるトラック数は最大99曲です。すでにトラックが99曲存在している場合、"Track No.Full"が表示されます。

メモ

- 分割するトラック以降のトラックは、分割後ひとつずつ後ろにずれます。ただし、後ろに空き番号がある場合には、その前までのトラックが後ろにずれます。

Track Divide前

1	2	空き	4	5	6	
分割						
1	2	3	4	5	6	

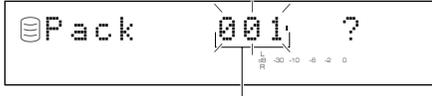
Track Divide後(トラック1を分割した場合)

Track Pack

トラックナンバーのつけかえや、トラックの消去により発生した空き番号をつめてトラックを整理します。

1. P.37『トラック編集について』の手順5で"Track Pack"を選択し、確定します。

ディスプレイには以下のように表示されます。



トラックの空き番号をつめるディスク

2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、トラックの空き番号をつめるディスクを選択します。
3. MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)、トラックの空き番号をつめるディスクを確定します。
4. COMPLETEボタンを押します。
トラックの空き番号が前につまって整理されます。

Track Pack前

1	空き	3	4	空き	6
---	----	---	---	----	---

1	2	3	4	5	6
---	---	---	---	---	---

Track Pack後(空き番号がなくなる)

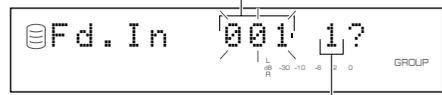
Add Fade In

トラックの先頭にフェードインを付加します。フェードインを付加すると、トラックの先頭を徐々にレベルを上げて再生することができます。

1. P.37『トラック編集について』の手順5で"Add Fade In"を選択し、確定します。

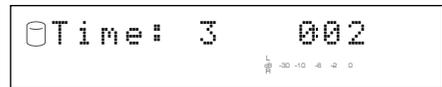
ディスプレイには以下のように表示されます。

フェードインを付加するトラックが記録されているディスク



フェードインを付加するトラック

- フェードインを付加するトラックが記録されているディスクの番号が点滅します。
2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、フェードインを付加するトラックが記録されているディスクを選択します。
 3. MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)、フェードインを付加するトラックが記録されているディスクを確定します。
フェードインを付加するトラックの番号が点滅します。
 4. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、フェードインを付加するトラックを選択します。
 5. MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)、フェードインを付加するトラックを確定します。
 6. ▷/00ボタン(リモコンでは▷ボタン)を押すと、フェードインを付加するトラックが再生されます。
ディスプレイに"Fd.In"の文字と、フェードインの時間が交互に表示されます。



7. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、フェードインの時間を設定します。
フェードインの時間は、1秒から10秒の範囲で、秒単位で調節が可能です。

- 8.** MULTI JOGノブを押すと(リモコンではENTERボタンを押すと)、トラックの先頭から手順7で設定したフェードインを付加する部分の数秒後の位置までを繰り返し再生します。

フェードインの時間が適切な場合は、次の手順に進んでください。ひきつづき設定が必要な場合は、手順7、8の操作を繰り返し行ってください。

- 9.** COMPLETEボタンを押します。

これで指定した時間分、トラックの先頭にフェードインが付加されます。

メモ

- 一度フェードインを付加したトラックを元に戻すには、手順7でCLEARボタンを押してフェードインの時間を0にし、COMPLETEボタンを押してください。
- トラックの時間が21秒以下の場合、フェードインを付加することができません。
- フェードインを付加したトラックに対して、以下の編集を行うと、フェードインの効果がなくなります。
 - 部分消去をした(Part Erase)。
 - トラックを結合した(Track Combine)。
 - トラックを分割した(Track Divide)。
 - トラックの開始位置を調節した(Track Adjust)。
- Track Adjustを実行した場合には、調節したトラックとその前のトラック両方のフェードイン効果がなくなります。

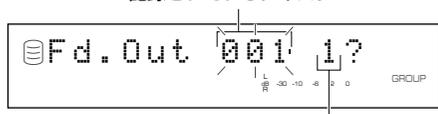
Add Fade Out

トラックの末尾にフェードアウトを付加します。フェードアウトを付加すると、トラックの末尾を徐々にレベルを下げて再生することができます。

- 1.** P.37「トラック編集について」の手順5で"Add Fade Out"を選択し、確定します。

ディスプレイには以下のように表示されます。

フェードアウトを付加するトラックが記録されているディスク



フェードアウトを付加するトラック

フェードアウトを付加するトラックが記録されているディスクの番号が点滅します。

- 2.** MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、フェードアウトを付加するトラックが記録されているディスクを選択します。

- 3.** MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)、フェードアウトを付加するトラックが記録されているディスクを確定します。

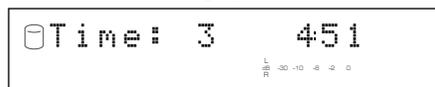
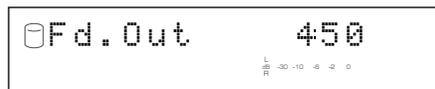
フェードアウトを付加するトラックの番号が点滅します。

- 4.** MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、フェードアウトを付加するトラックを選択します。

- 5.** MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)、フェードアウトを付加するトラックを確定します。

- 6.** ▷/00ボタン(リモコンでは▷ボタン)を押すと、フェードアウトを付加するトラックが再生されます。

ディスプレイに"Fd.Out"の文字と、フェードアウトの時間が交互に表示されます。



- 7.** MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、フェードアウトの時間を設定します。

フェードアウトの時間は、1秒から10秒の範囲で、秒単位で調節が可能です。

- 8.** MULTI JOGノブを押すと(リモコンではENTERボタンを押すと)、手順7で設定したフェードアウトを付加する部分の数秒前の位置からトラックの末尾までを繰り返し再生します。

フェードアウトの時間が適切な場合は、次の手順に進んでください。ひきつづき設定が必要な場合は、手順7、8の操作を繰り返し行ってください。

- 9.** COMPLETEボタンを押します。

これで指定した時間分、トラックの末尾にフェードアウトが付加されます。

メモ

- 一度フェードアウトを付加したトラックを元に戻すには、手順7でCLEARボタンを押してフェードアウトの時間を0にし、COMPLETEボタンを押してください。
- トラックの時間が21秒以下の場合、フェードアウトを付加することができません。
- フェードアウトを付加したトラックに対して、以下の編集を行うと、フェードアウトの効果がなくなります。
 - 部分消去をした(Part Erase)。
 - トラックを結合した(Track Combine)。
 - トラックを分割した(Track Divide)。
 - トラックの開始位置を調節した(Track Adjust)。
- Track Adjustを実行した場合には、調節したトラックとその前のトラック両方のフェードアウト効果がなくなります。

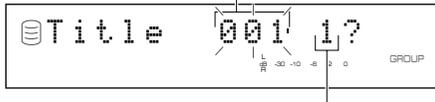
Track Title

記録されたトラックにタイトルをつけます。

1. P.37『トラック編集について』の手順5で"Track Title"を選択し、確定します。

ディスプレイには以下のように表示されます。

タイトルをつけるトラックが
記録されているディスク



タイトルをつけるトラック

タイトルをつけるトラックが記録されているディスクの番号が点滅します。

2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、タイトルをつけるトラックが記録されているディスクを選択します。

3. MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)、タイトルをつけるトラックが記録されているディスクを確定します。

ディスクを確定すると、タイトルをつけるトラックの番号が点滅します。

4. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、タイトルをつけるトラックを選択します。

5. MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)、タイトルをつけるトラックを確定します。

ディスプレイには以下のように表示されます。



カーソルが点滅します。

メモ

- 選択したトラックにすでにタイトルがついている場合は、そのタイトルが表示されます。

6. MULTI JOGノブ、またはリモコンの英/数字ボタンを使って、タイトルを入力します。

■ MULTI JOGノブを使ってタイトルを入力する

1. MULTI JOGノブを右に回します。

右に回すと、文字が出てきます。文字はアルファベット大文字、アルファベット小文字、数字、記号の順番に並んでいますので、適切なものを選択してください。

2. MULTI JOGノブを押して、選択した文字を確定します。

カーソルが次の位置へ移動します。同様の操作を繰り返してタイトルを入力してください。最大32文字まで入力できます。

3. すべての文字の入力が終了したら、COMPLETEボタンを押します。

これで指定したトラックにタイトルがつきます。

■ リモコンの英/数字ボタンを使ってタイトルを入力する

1. 入力したい文字を、リモコンの英/数字ボタンにより選択します。

1回押すごとに、文字はアルファベット大文字、アルファベット小文字、数字の順番に変わります。スペースはSPACEボタンを、記号はSYMBOLボタンを押して選択します。

2. 別の英/数字ボタンを押して、次の文字を選択します。

カーソルが自動的に次の位置に移動します。同じボタンを使う場合には、>>ボタンを押してカーソルを移動します。

3. すべての文字の入力が終了したら、COMPLETEボタンを押します。

これで、指定したトラックにタイトルがつきます。

メモ

- すでに文字が入力されている位置にカーソルを移動し、文字を新規に入力、確定すると、もともとあった文字以降が後ろへずれて、新規に入力した文字が挿入されます。

■ 入力した文字を修正するには

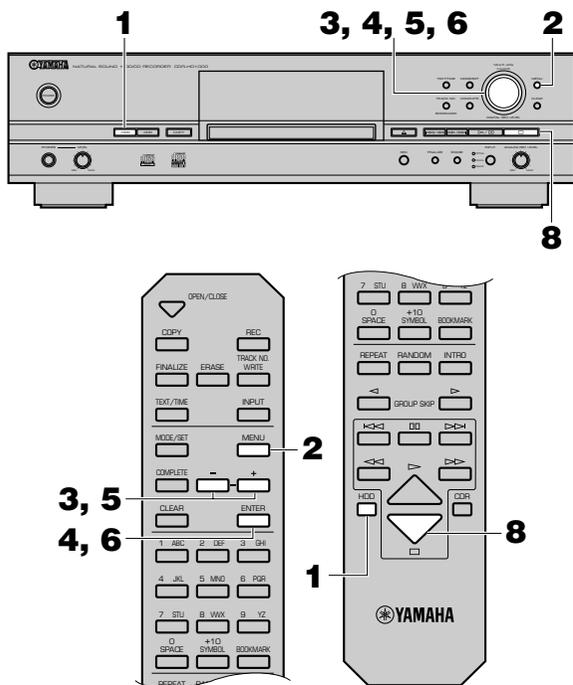
<<</<<<ボタンまたは>>>/>>>ボタン(リモコンでは<<<ボタンまたは>>>ボタン)を押してカーソルを修正したい位置に移動し、CLEARボタンを押してその文字を消してから、新規に文字を入力し、確定してください。

ディスク編集について

本機ではHDDに記録されたトラックに対して、様々な編集をすることができます。以下、トラック編集の基本手順を説明します。

各項目の詳細については、項目別の説明を参照ください。

- ディスクナンバーをつけかえるには P.46『Disc Rename』
- ディスクを消去するには P.47『Disc Erase』
- 連続したディスクをつなげるには P.47『Disc Combine』
- ひとつのディスクをふたつに分割するには P.48『Disc Divide』
- ディスクナンバーを前に詰めるには P.48『Disc Pack』
- ディスクにタイトルをつけるには P.49『Disc Title』



1. HDDボタンを押して、HDDを選択します。
2. 停止状態でMENUボタンを押すと、ディスプレイがメニュー項目選択の表示になります。
3. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、“Disc Edit”を選択します。



4. MULTI JOGノブを押すと(リモコンではENTERボタンを押すと)、ディスプレイが編集メニュー項目選択の表示になります。

5. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、編集メニュー項目を選択します。編集メニュー項目は以下のとおりです。

- Disc Rename
- Disc Erase
- Disc Combine
- Disc Divide
- Disc Pack
- Disc Title

6. MULTI JOGノブを押すと(リモコンではENTERボタンを押して)、選択した項目が確定され、実際の編集作業に入ります。

7. 項目別の説明(P.46~49)に従い、編集をします。

メモ

- 編集の途中でMENUボタンを押すと入力操作が無効になり、ひとつ前の表示に戻ります。
- 編集の途中でOKボタンを押すと入力操作がすべて無効になり、停止状態時の表示に戻ります。

8. すべての編集が完了したら、OKボタンを押します。ディスプレイが停止状態時の表示になります。

Disc Rename

ディスクを移動させ、番号をつけかえます。

1. 『ディスク編集について』の手順5で“Disc Rename”を選択し、確定します。

ディスプレイには以下のように表示されます。

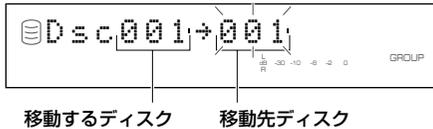


移動するディスク

移動するディスクの番号が点滅します。

2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、移動するディスクを選択します。

- 3.** MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)、移動するディスクを確定します。
ディスプレイ表示が左スクロールし、移動するディスクの番号、移動先ディスクの番号が表示されます。



- 4.** MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、移動先ディスクを選択します。
- 5.** MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)、移動先ディスクを確定します。

メモ

- 誤って選択内容を確定したときは、CLEARボタンを押して内容をキャンセルし、やり直してください。

- 6.** COMPLETEボタンを押します。

これで、指定した移動先に、指定したディスクが移動されます。

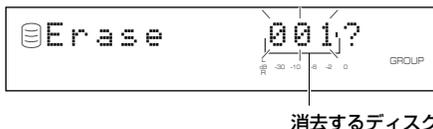
メモ

- 移動先ディスクの番号が使用されている場合には、その番号がついていたディスク以降がひとつずつ後ろにずれます。ただし、後ろに空き番号がある場合には、その前までのディスクが後ろにずれます。
- 移動したディスクが使用していた番号は、空き番号となります。

Disc Erase

指定したディスクを消去します。

- 1.** P.46『ディスク編集について』の手順5で"Disc Erase"を選択し、確定します。
ディスプレイには以下のように表示されます。



消去するディスクの番号が点滅します。

- 2.** MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、消去するディスクの番号を選択します。
- 3.** MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)、消去するディスクの番号を確定します。

メモ

- 誤って選択内容を確定したときは、CLEARボタンを押して内容をキャンセルし、やり直してください。

- 4.** COMPLETEボタンを押します。

これで、指定したディスクが消去されます。

メモ

- 消去したディスクが使用していた番号は空き番号となります。

Disc Combine

連続したディスクを結合し、ひとつのディスクにします。

- 1.** P.46『ディスク編集について』の手順5で"Disc Combine"を選択し、確定します。
ディスプレイには以下のように表示されます。



先頭部分となるディスクの番号が点滅します。

- 2.** MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、先頭部分となるディスクを選択します。
- 3.** MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)、先頭部分となるディスクを確定します。
ディスプレイ表示が左スクロールし、先頭部分となるディスクの番号、末尾部分となるディスクの番号が表示されます。



- 4.** MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、末尾部分となるディスクを選択します。
- 5.** MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)、末尾部分となるディスクを確定します。
- 6.** COMPLETEボタンを押します。
これで、指定したディスク間の全ディスクがひとつのディスクになります。

ご注意

- ひとつのディスクに記録できるトラック数は最大99曲です。結合するディスクに記録されている合計トラック数が、これを超える場合、"Track No.Full"が表示されます。
- ひとつのディスクの最長時間は約99分59秒です。結合するディスクの合計既録音時間が、これを超える場合、"No Enough Spc"が表示されます。

メモ

- 先頭部分となるディスク以降の、指定したディスクが使用していた番号は空き番号となります。
- つながったディスクのタイトルは、先頭部分のディスクのタイトルがそのまま有効となります。

Disc Divide

ひとつのディスクを指定した位置で分割して、ふたつのディスクにします。

1. P.46『ディスク編集について』の手順5で"Disc Divide"を選択し、確定します。

ディスプレイには以下のように表示されます。



分割するディスク

分割するディスクの番号が点滅します。

2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、分割するディスクを選択します。

3. MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)、分割するディスクを確定します。

ディスプレイに"Div.from"の文字と、分割位置(分割後のディスクの先頭になるトラックの番号)が表示されます。



分割後のディスクの先頭になるトラック

4. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、分割位置を選択します。
5. MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)、分割位置を確定します。
6. COMPLETEボタンを押します。

これで、指定したディスクを、指定した分割位置から分割します。

ご注意

- HDDに記録できるディスク数は最大999個です。すでにディスクが999個存在している場合、"Disc No.Full"が表示されます。

メモ

- 分割するディスク以降のディスクは、分割後ひとつずつ後ろにずれます。ただし、後ろに空き番号がある場合には、その前までのディスクが後ろにずれます。

Disc Divide前

1	2	空き	4	5	6
分割					
1	2	3	4	5	6

Disc Divide後(ディスク1を分割した場合)

Disc Pack

ディスクナンバーのつけかえや、ディスクの消去により発生した空き番号をつめてディスクを整理します。

1. P.46『ディスク編集について』の手順5で"Disc Pack"を選択し、確定します。

ディスプレイには以下のように表示されます。



2. COMPLETEボタンを押します。

これで、ディスクの空き番号が前につまって整理されます。

Disc Pack前

1	空き	3	4	空き	6
1	2	3	4	5	6

Disc Pack後(空き番号がなくなる)

Disc Title

記録されたディスクにタイトルをつけます。

1. P.46『ディスク編集について』の手順5で"Disc Title"を選択し、確定します。

ディスプレイには以下のように表示されます。



タイトルをつけるディスク

タイトルをつけるディスクの番号が点滅します。

2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、タイトルをつけるディスクを選択します。
3. MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)、タイトルをつけるディスクを確定します。
ディスプレイには以下のように表示されます。



カーソルが点滅します。

メモ

- ・選択したディスクにすでにタイトルがついている場合は、そのタイトルが表示されます。

4. MULTI JOGノブ、またはリモコンの英/数字ボタンを使って、タイトルを入力します。

■ MULTI JOGノブを使ってタイトルを入力する

1. MULTI JOGノブを右に回します。
右に回すと、文字が出てきます。文字はアルファベット大文字、アルファベット小文字、数字、記号の順番に並んでいますので、適切なものを選択してください。
2. MULTI JOGノブを押して、選択した文字を確定します。
カーソルが次の位置へ移動します。同様の操作を繰り返してタイトルを入力してください。最大32文字まで入力できます。
3. すべての文字の入力が終了したら、COMPLETEボタンを押します。
これで、指定したディスクにタイトルがつきます。

■ リモコンの英/数字ボタンを使ってタイトルを入力する

1. 入力したい文字を、リモコンの英/数字ボタンにより選択します。
1回押すごとに、文字はアルファベット大文字、アルファベット小文字、数字の順番に変わります。スペースはSPACEボタンを、記号はSYMBOLボタンを押して選択します。
2. 別の英/数字ボタンを押して、次の文字を選択します。
カーソルが自動的に次の位置に移動します。同じボタンを使う場合には、>>ボタンを押してカーソルを移動します。
3. すべての文字の入力が終了したら、COMPLETEボタンを押します。
これで、指定したディスクにタイトルがつきます。

メモ

- ・すでに文字が入力されている位置にカーソルを移動し、文字を新規に入力、確定すると、もともとあった文字以降が後ろへずれて、新規に入力した文字が挿入されます。

■ 入力した文字を修正するには

<<</<<ボタンまたは>>>/>>>ボタン(リモコンでは<<<ボタンまたは>>>ボタン)を押してカーソルを修正したい位置に移動し、CLEARボタンを押してその文字を消してから、新規に文字を入力し、確定してください。

アンドゥ処理(Undo)

本機では、直前の編集操作に対して、その操作および結果をキャンセルすること(アンドゥ処理)ができます。

1. 停止状態でMENUボタンを押すと、ディスプレイがメニュー項目選択の表示になります。
2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、“Undo”を選択します。

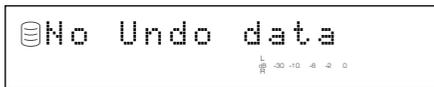


3. MULTI JOGノブを押すと(リモコンではENTERボタンを押すと)、“Undo?”と表示されます。
4. COMPLETEボタンを押します。
これで、直前の編集操作およびその結果がキャンセルされます。

ただし、編集操作後に、以下の操作をした場合には、アンドゥ処理はできません。

- 編集操作後に、録音をした、または録音しようとして録音一時停止状態にした。
- 編集操作後に、コピーをした、またはコピーしようとしてコピースタンバイ状態にした。
- 別の編集作業をした。
- HDDのフォーマットを実行した。

アンドゥ処理ができない場合は、以下の表示が出ます。



メモ

- トラックへのフェードイン、フェードアウトの付加については、いつでも解除が可能のため、アンドゥ処理の対象にはなりません。
- アルバム、トラック、ディスクのタイトル編集はアンドゥ処理の対象にはなりません。
- CDRドライブ選択時のアルバム編集はアンドゥ処理の対象にはなりません。

CD-RWの消去

CD-RWでは一度録音したものを消去できます。また、消去した箇所、新たに追加録音できます。消去方法は以下の4通りです。

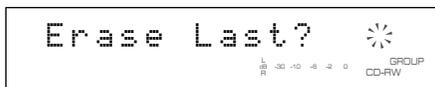
■ 最終曲消去

ディスクの最終曲を消去します。この操作はファイナライズ済みのCD-RWや、1曲しか録音されていないCD-RWではできません。

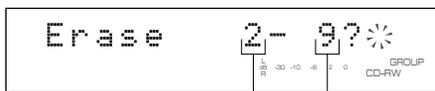
1. 消去したいCD-RWを入れます。

2. ERASEボタンを押します。

ディスプレイには以下のように表示されます。



最終曲のみを消去するには、手順3に進みます。最終曲のさらに前の曲も含めて消去するにはMULTI JOGノブを回して、消去する曲の範囲を指定してください。



消去を始める曲 最終曲

消去を中止したいときは、□ボタンを押します。

3. ▷/00ボタン(リモコンでは▷ボタン)を押して、消去を始めます。

"Erasing"が点滅するとともに、レベルメーターにて進行状況を表示します。

4. 消去が完了すると、本機は停止します。

■ 全曲消去

ディスクに記録されている全曲を消去します。この操作はファイナライズ済みのCD-RWではできません。

1. 消去したいCD-RWを入れます。

2. ディスプレイに"Erase All?"が表示されるまで、ERASEボタンを押します。



消去を中止したいときは、□ボタンを押します。

3. ▷/00ボタン(リモコンでは▷ボタン)を押して、消去を始めます。

"Erasing"が点滅するとともに、レベルメーターにて進行状況を表示します。

4. 消去が完了すると、本機は停止します。

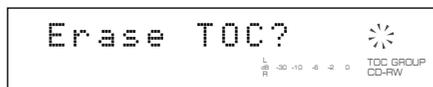
■ TOC消去

この操作はファイナライズ済みのCD-RWでのみ可能です。TOCを消去したあとは、追加の録音が可能となります。

1. ファイナライズ済みのCD-RWを入れます。

2. ERASEボタンを押します。

ディスプレイに"Erase TOC?"と表示されます。



消去を中止したいときは、□ボタンを押します。

3. ▷/00ボタン(リモコンでは▷ボタン)を押して、消去を始めます。

"Erasing"が点滅するとともに、レベルメーターにて進行状況を表示します。

4. 消去が完了すると、本機は停止します。

メモ

• TOC消去が完了すると、TOCインジケーターが消灯します。

■ ディスク消去

この操作はディスク上すべての情報を消去します。主にディスクの修復用に利用します。

1. 消去したいCD-RWを入れます。

2. 約2秒間、ERASEボタンを押したままにします。

ディスプレイに"Erase Disc?"と表示されます。



消去を中止したいときは、□ボタンを押します。

3. ▷/00ボタン(リモコンでは▷ボタン)を押して、消去を始めます。

"Erasing"が点滅するとともに、レベルメーターにて進行状況を表示します。

4. 消去が完了すると、本機は停止します。

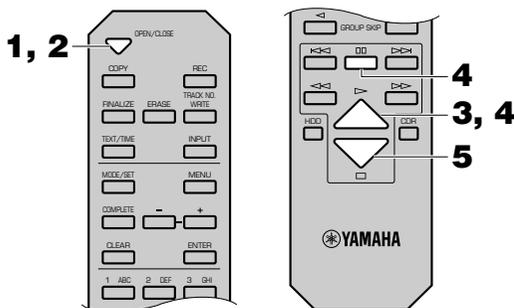
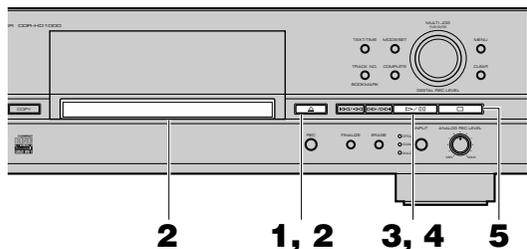
ご注意

- 消去中は電源を切らないでください。
- 消去中、ディスプレイに"Check Disc"と表示され、消去が停止した場合、ディスクが汚れていたり、破損している可能性があります。ディスクを取り出して確認し、もう一度消去を行ってください。
- ディスク消去には、約20分程度の時間がかかります。

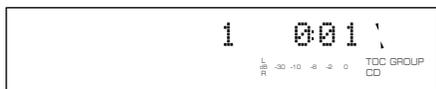
再生の基本操作

本機では、HDDとCDの二種類の記録媒体を切り替えて再生することができます。HDDを再生する場合はHDDボタンを、CD(CD-RまたはCD-RWを含む)を再生する場合はCDRボタンを押してください。

CDの再生

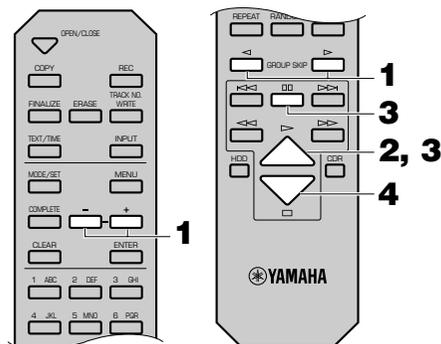
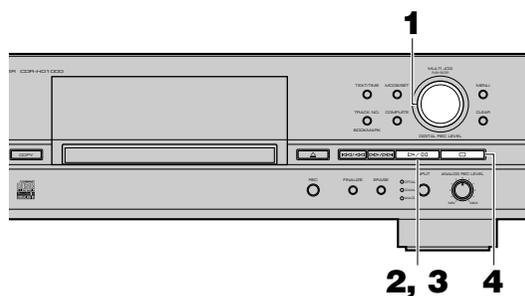


1. △ボタン(リモコンではOPEN/CLOSEボタン)を押して、ディスクトレイを開けます。
2. CDをディスクトレイに置き、△ボタン(リモコンではOPEN/CLOSEボタン)を押して、ディスクトレイを閉めます。本機内部でディスク情報を読み取ります。その間、ディスプレイには"Reading"と点滅します。
3. 再生を開始します。
▷/00ボタン(リモコンでは▷ボタン)を押すと、一曲目から再生が始まります。



4. 再生を一時停止するには、▷/00ボタン(リモコンでは00ボタン)を押します。再生を再び始めるには、▷/00ボタン(リモコンでは▷または00ボタン)を押します。
5. 再生を終えるには、□ボタンを押します。

HDDの再生

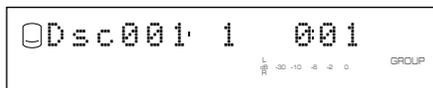


1. GROUPインジケーターが点灯していることを確認し、MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、再生したいグループ(ディスク、アルバム、ブックマーク)を選択します。

メモ

• リモコンのGROUP SKIP◀ボタンまたはGROUP SKIP▶ボタンでもグループの選択ができます。

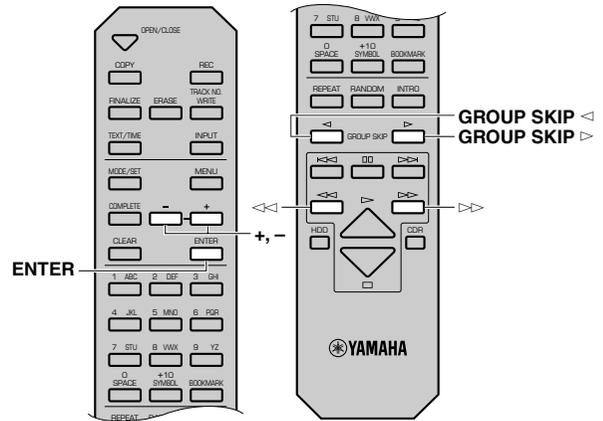
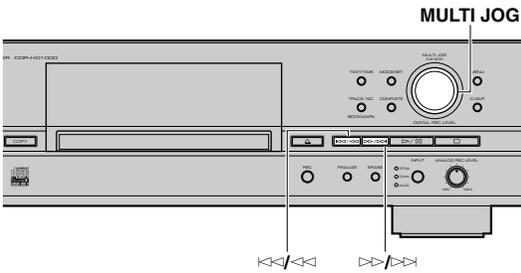
2. 再生を開始します。
▷/00ボタン(リモコンでは▷ボタン)を押すと、選択したグループに記録されている一曲目の最初から再生が始まります。



3. 再生を一時停止するには、▷/00ボタン(リモコンでは00ボタン)を押します。再生を再び始めるには、▷/00ボタン(リモコンでは▷または00ボタン)を押します。
4. 再生を終えるには、□ボタンを押します。

重要

- 再生中に電源を切らないでください。HDD上のデータの破損の原因となることがあります。
- HDD故障の原因となる場合があるので、再生中は衝撃や振動を本機に加えないでください。



聞きたい部分を探す(サーチ)

■ 早送りするには

再生中に、>>>/>>>ボタン(リモコンでは>>>ボタン)を押したままにします。

ボタンから手を離れたところから、通常の再生が始まります。

■ 早戻しするには

再生中に、<<</<<<ボタン(リモコンでは<<<ボタン)を押したままにします。

ボタンから手を離れたところから、通常の再生が始まります。

メモ

- 一時停止中でもサーチすることができます。一時停止中のサーチでは、音は聞こえません。

聞きたいグループを探す(グループスキップ)

HDDに記録されているグループ(ディスク、アルバム、ブックマーク)から、聞きたいグループを選択することができます。

■ MULTI JOGノブ(リモコンでは+、-ボタン)でグループを選択するには

MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)、ディスプレイにGROUPインジケータを点灯させます。



MULTI JOGノブを右に回すと(リモコンでは+ボタンを押すと)、次のグループ、さらに次のグループへと進みます。左に回すと(リモコンでは-ボタンを押すと)、前のグループ、さらに前のグループに戻ります。

■ 次のグループを聞くには

リモコンのGROUP SKIP>ボタンを押します。

続けて次のグループに進むには、GROUP SKIP>ボタンを繰り返し押しします。

■ 前のグループを聞くには

リモコンのGROUP SKIP<ボタンを押します。

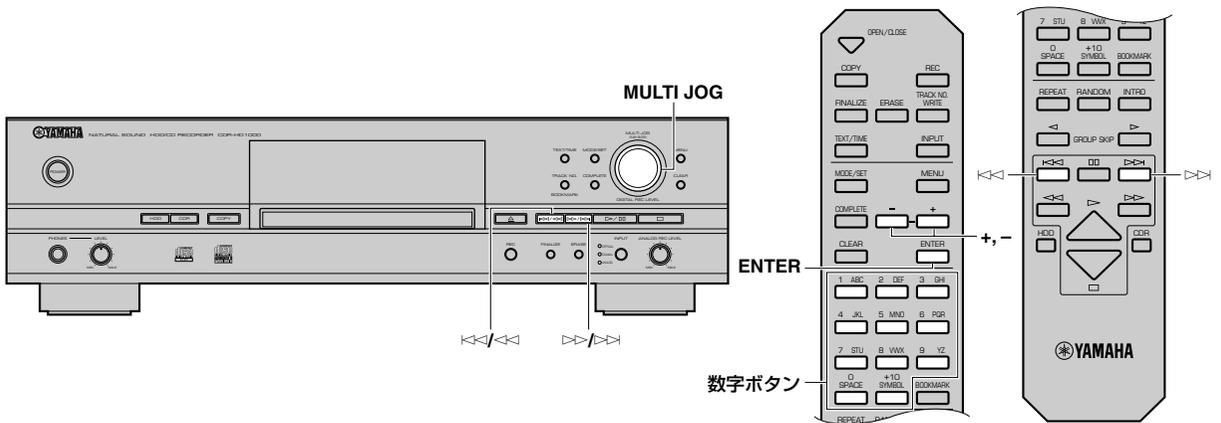
さらに前のグループに戻るには、GROUP SKIP<ボタンを繰り返し押しします。

メモ

- 再生中、一時停止中、停止中にかかわらず、グループスキップすることができます。
- 再生は、選択したグループに記録されている一曲目の最初から始まります。

レジュームプレイ機能

□ボタンを押して再生を停止したあと、▷/□ボタン(リモコンでは▷ボタン)を押すと、停止した曲の最初から再生が始まります。これをレジュームプレイと呼びます。□ボタンを押して再生を停止したあと、もう一度□ボタンを押すと、レジュームプレイ機能が解除されます。解除後の再生は、ディスク(またはアルバム)やCDに記録されている最初の曲から始まります。



聞きたい曲を探す (トラックスキップ)

■ MULTI JOGノブ(リモコンでは+、-ボタン)で選曲するには

MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)、ディスプレイにTRACKインジケータを点灯させます。



MULTI JOGノブを右に回すと(リモコンでは+ボタンを押すと)、次の曲、さらに次の曲へと進みます。左に回すと(リモコンでは-ボタンを押すと)、前の曲、さらに前の曲に戻ります。

■ 次の曲を聞くには

▷▷/▷▷ボタン(リモコンでは▷▷ボタン)を押します。

続けて次の曲へ進むには、▷▷/▷▷ボタン(リモコンでは▷▷ボタン)を繰り返し押します。

■ 再生中の曲の最初に戻るには

再生中に、◀◀/◀◀ボタン(リモコンでは◀◀ボタン)を1回押しします。

■ 前の曲を聞くには

◀◀/◀◀ボタン(リモコンでは◀◀ボタン)を2回押しします。

さらに前の曲に戻るには、◀◀/◀◀ボタン(リモコンでは◀◀ボタン)を繰り返し押します。

■ 聞きたい曲から再生するには

リモコンの数字ボタンを押して、聞きたい曲を選択します。ディスプレイには聞きたい曲番号が表示されます。

例: 25曲目を選択する場合

+10ボタンを2回押し、すぐに5ボタンを1回押しします。

メモ

- ディスク(またはアルバムやブックマーク)やCDに記録されている曲数以上の曲番をリモコンで入力すると、最後の曲を再生します。

メモ

- 再生中、一時停止中、停止中にかかわらず、トラックスキップすることができます。

本機では各種設定により、さまざまな方法で再生することができます。以下設定項目別に、設定手順を説明します。

メモ

- プレイスタイル、ランダム再生、リピート再生、イントロ再生の設定は再生中でも設定できます。
- プレイスタイル、ランダム再生、全曲リピート再生の設定は電源を切っても記憶されています。

- ランダム再生設定時は、指定したグループが属するカテゴリの全曲からランダムに選択して再生します。
- 全曲リピート再生設定時は、指定したグループが属するカテゴリの全曲を繰り返し再生します。
- イントロ再生設定時は、指定したグループが属するカテゴリの全曲の最初の部分だけを次々に再生します。

例えば、ディスク1を再生中に全曲リピート再生を設定すると、ディスク1とディスク2に記録されている全曲を繰り返し再生することになります。

メモ

- "Style All"を設定しているとき、ディスプレイをタイトルの表示にしておくとし、ディスクが変わる際に、わずかに音が途切れる場合があります。このような場合はTEXT/TIMEボタンを押してタイトル表示を時間表示に切り替えてください。(P.10参照)

■ "Style Group"を確定した場合

ディスプレイのGインジケータが点灯します。



HDD上に記録されているグループ(ディスク、アルバムおよびブックマーク)のうち、どれかひとつのみランダム再生、全曲リピート再生、イントロ再生の設定が適用されます。



- ランダム再生設定時は、指定したグループに記録されている曲をランダムに選択して再生します。
- 全曲リピート再生設定時は、指定したグループに記録されている全曲を繰り返し再生します。
- イントロ再生設定時は、指定したグループに記録されている全曲の最初の部分だけを次々に再生します。

例えば、ディスク1を再生中に全曲リピート再生を設定すると、ディスク1に記録されている全曲を繰り返し再生することになります。

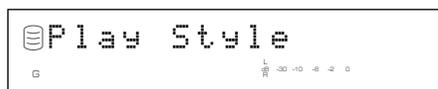
プレイスタイルを設定する

HDD再生時のみ、プレイスタイルを設定することができます。プレイスタイルの設定により、リピート再生、ランダム再生、イントロ再生するときの演奏範囲が変わります。

1. HDDボタンを押して、HDDドライブを選択します。

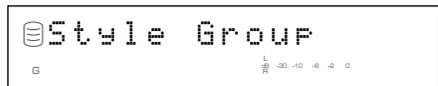
2. MODE/SETボタンを押して、再生モードの設定に入ります。

ディスプレイに"Play Style"と表示されます。



3. MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)、プレイスタイルの設定に入ります。

4. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、“Style All”または“Style Group”をディスプレイに表示させます。



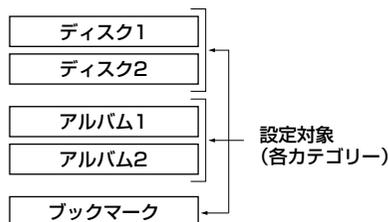
5. MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)、確定します。

■ "Style All"を確定した場合

ディスプレイのAインジケータが点灯します。



HDD上に記録されているグループ(ディスク、アルバムおよびブックマーク)のうち、どれかひとつのカテゴリがランダム再生、全曲リピート再生、イントロ再生の設定対象となります。

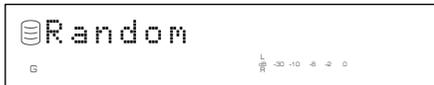


順不同に聞く(ランダム再生)

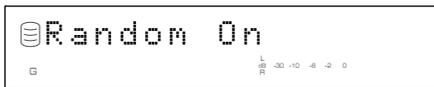
本機では、HDD上のグループに記録された曲や、CD内の曲を順不同に(ランダムに)選択して聞くことができます。

■ ランダム再生の設定をするには

1. HDDボタンまたはCDRボタンを押して、操作するドライブを選択します。
2. MODE/SETボタンを押して、再生モードの設定に入ります。
3. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、“Random”をディスプレイに表示させます。



4. MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)、ランダム再生の設定に入ります。
5. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、“Random On”をディスプレイに表示させます。



6. MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)、確定します。
ディスプレイのRNDMインジケータが点灯します。



メモ

- リモコンのRANDOMボタンを押すだけで、簡単にランダム再生を設定することもできます。
- 再生中にランダム再生の設定をすると、次の曲から設定が適用され、ランダム再生となります。

■ ランダム再生を開始するには

ランダム再生の設定が終わったら、▶/⏪ボタン(リモコンでは▶ボタン)を押して、ランダム再生を開始します。

■ ランダム再生を停止するには

□ボタンを押します。

■ ランダム再生の設定を解除するには

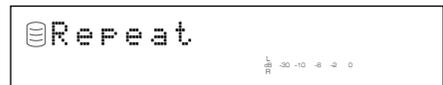
『ランダム再生の設定をするには』の手順5で、“Random Off”を選択して確定するか、リモコンのRANDOMボタンを押してください。ディスプレイのRNDMインジケータが消灯します。

聞きたい曲を繰り返し聞く(1曲リピート再生)

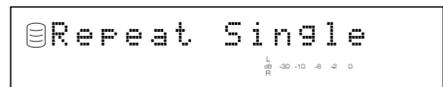
指定した1曲、または再生中の曲を繰り返し再生します。

■ 1曲リピート再生を設定するには

1. HDDボタンまたはCDRボタンを押して、操作するドライブを選択します。
2. MODE/SETボタンを押して、再生モードの設定に入ります。
3. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、“Repeat”をディスプレイに表示させます。



4. MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)、1曲リピート再生の設定に入ります。
5. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、“Repeat Single”をディスプレイに表示させます。



6. MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)、確定します。
ディスプレイのS REPインジケータが点灯します。



メモ

- リモコンのREPEATボタンを1回押すだけで、簡単に1曲リピート再生を設定することもできます。
- アルバム再生中やランダム再生中でも、再生中の曲がリピートされます。

■ 1曲リピート再生を設定を解除するには

『1曲リピート再生の設定をするには』の手順5で、“Repeat Off”を選択して確定するか、リモコンのREPEATボタンをS REPインジケータが消灯するまで押してください。

すべての曲を繰り返し聞く (全曲リピート再生)

1つのグループ(1枚のCD)に記録されているすべての曲、または1つのカテゴリーに記録されているすべての曲を繰り返し再生します。

■全曲リピート再生を設定するには

1. HDDボタンまたはCDRボタンを押して、操作するドライブを選択します。
2. MODE/SETボタンを押して、再生モードの設定に入ります。
3. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、“Repeat”をディスプレイに表示させます。



4. MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)、全曲リピート再生の設定に入ります。
5. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、“Repeat Full”をディスプレイに表示させます。



6. MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)、確定します。
ディスプレイのREPインジケータが点灯します。



メモ

- リモコンのREPEATボタンを2回押すだけで、簡単に全曲リピート再生を設定することもできます。
- ランダム再生中は、ランダムに選択された曲を同じ順序で繰り返し再生します。

■全曲リピート再生の設定を解除するには

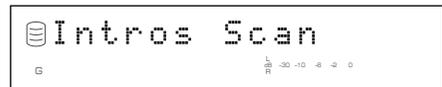
『全曲リピート再生の設定をするには』の手順5で、“Repeat Off”を選択して確定するか、リモコンのREPEATボタンをREPインジケータが消灯するまで押してください。

曲の最初の部分だけを聞く (イントロ再生)

曲の最初の部分を指定した時間分だけ、次々に再生します。

■イントロ再生を設定するには

1. HDDボタンまたはCDRボタンを押して、操作するドライブを選択します。
2. MODE/SETボタンを押して、再生モードの設定に入ります。
3. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、“Intros Scan”をディスプレイに表示させます。



4. MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)、イントロ再生の設定に入ります。
5. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、再生時間を指定します。
再生時間は1秒から10秒までは1秒ステップで、10秒から60秒までは5秒ステップで指定できます。



■イントロ再生を開始するには

『イントロ再生の設定をするには』の手順5で再生時間を指定したあと、MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)確定するか、▶/00ボタン(リモコンでは▶ボタン)を押して、イントロ再生を開始します。



メモ

- リモコンのINTROボタンを押すだけで、簡単にイントロ再生を開始することもできます。
- 1曲リピート再生中は、指定された曲の最初の部分を繰り返し再生します。
- “Style Group”設定時で全曲リピート再生中は、指定されたグループに記録されている全曲の最初の部分を繰り返し再生します。
- “Style All”設定時で全曲リピート再生中は、指定されたグループが属するカテゴリーに記録されている全曲の最初の部分を繰り返し再生します。
- ランダム再生中は、ランダムに選択された曲の最初の部分を再生します。

■イントロ再生を停止するには

□ボタンを押します。

■イントロ再生の設定を解除するには

リモコンのINTROボタンを押してください。

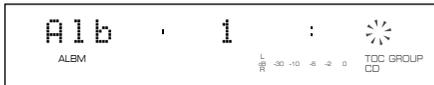
聞きたい曲を好きな順に聞く (アルバム再生)

本機では、聞きたい曲を好きな順にピックアップして聞くことができます(アルバム再生)。アルバム再生を行うには、まずアルバムと呼ばれる、曲の演奏順を記憶させたリストを作成する必要があります。アルバムの作成については、P.32を参照ください。

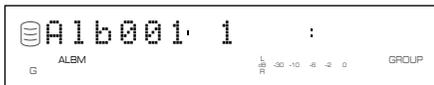
■ 作成したアルバムを再生するには

1. HDDボタンまたはCDRボタンを押して、操作するドライブを選択します。
2. MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)、ディスプレイにGROUPインジケータを点灯させます。
3. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、再生したいアルバムを選択します。

CDの場合



HDDの場合(アルバムナンバー1を選択)



HDD上に複数のアルバムを作成している場合は、アルバムナンバー順にアルバムを選択できます。

4. 再生を開始します。
▷/00ボタン(リモコンでは▷ボタン)を押すと、選択したアルバムの一曲目の最初から再生が始まります。
5. 再生を一時停止するには、▷/00ボタン(リモコンでは00ボタン)を押します。
再生を再び始めるには、▷/00ボタン(リモコンでは▷または00ボタン)を押します。

■ アルバム再生を停止するには
□ボタンを押します。

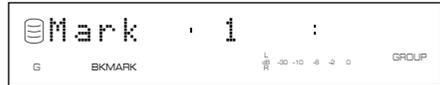
■ アルバム内容を変更するには
P.32を参照ください。

■ アルバム内容を削除するには
P.34を参照ください。

ブックマークプレイ

ブックマークをつけた曲のリストを再生時に選択すれば、簡単に聞きたい曲を再生できます。ブックマークについてはP.36を参照ください。

1. HDDボタンを押して、HDDドライブを選択します。
2. MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)、ディスプレイにGROUPインジケータを点灯させます。
3. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、“Mark”を選択します。



4. 再生を開始します。
▷/00ボタン(リモコンでは▷ボタン)を押すと、一曲目の最初から再生が始まります。

メモ

・再生される順番は、ブックマークつけた順番となります。

5. 再生を一時停止するには、▷/00ボタン(リモコンでは00ボタン)を押します。
再生を再び始めるには、▷/00ボタン(リモコンでは▷または00ボタン)を押します。

ヘッドホンを使って聞く

お手持ちのヘッドホンのプラグをPHONES端子に接続します。
LEVELツマミを回して、ヘッドホンの音量を調節します。



ご注意

- ・本機が接続されているアンプ、レシーバー等の電源が切れていると、本機の音が歪むことがあります。この場合は、接続されているアンプ、レシーバー等の電源を入れた状態でご使用ください。

HDDユーティリティについて

■ HDDの容量を確認する(HDD Info.)

本機に搭載のHDDの容量(全容量、使用量、残容量)を確認することができます。

1. 停止状態でMENUボタンを押すと、ディスプレイがメニュー項目選択の表示になります。
2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、“HDD Utility”を選択します。

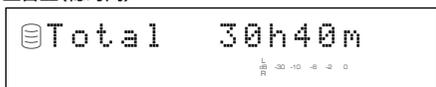


3. MULTI JOGノブを押すと(リモコンではENTERボタンを押すと)、“HDD Info.”と表示されます。



4. もう一度MULTI JOGノブを押すと(リモコンではENTERボタンを押すと)、HDDの全容量が表示されます。MULTI JOGノブを回すと(リモコンで+、-ボタンを押すと)、以下のように表示が変わります。表示は時間単位です。

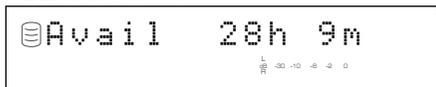
全容量(総時間)



使用量(既記録総時間)



残容量(記録可能時間)



メモ

- 表示される時間は概算値です。

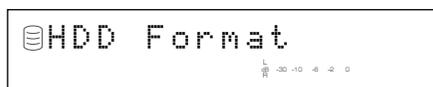
■ HDDをフォーマットする(HDD Format)

本機に搭載のHDDをフォーマットし、初期状態に戻します。

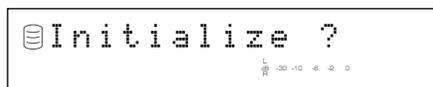
ご注意

- フォーマットを行うと、記録されていたすべての曲データおよび各設定が消去され、初期状態になります。
- フォーマットを行うと、HDD上のすべてのデータを初期化しますので、アンドゥは行えません。

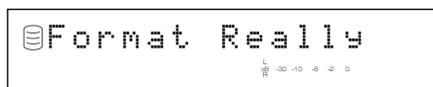
1. 停止状態でMENUボタンを押すと、ディスプレイがメニュー項目選択の表示になります。
2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、“HDD Utility”を選択します。
3. MULTI JOGノブを押すと(リモコンではENTERボタンを押すと)、HDDユーティリティ項目選択表示になります。
4. MULTI JOGノブを回して(リモコン+、-ボタンを押して)、“HDD Format”を選択します。



5. MULTI JOGノブを押すと(リモコンではENTERボタンを押すと)、“Initialize?”と表示されます。



6. ▷/00ボタン(リモコンでは▷ボタン)を押すと、確認のため、“Format Really”と表示されます。



フォーマットしても良い場合は、INPUTボタンを、フォーマットをやめる場合はコボタンを押してください。

7. INPUTボタンを押すと、“Format OK”の表示になり、その後電源を入れたときの表示になります。

システムユーティリティについて

■ **ファームウェアのバージョンを確認する (Firm. Version)**
本機にはファームウェアと呼ばれる、操作を制御するソフトウェアが組み込まれています。以下はそのファームウェアのバージョン確認の手順です。

1. 停止状態でMENUボタンを押すと、ディスプレイがメニュー項目選択の表示になります。
2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、“Sys. Utility”を選択します。



3. MULTI JOGノブを押すと(リモコンではENTERボタンを押すと)、“Firm. Version”と表示されます。

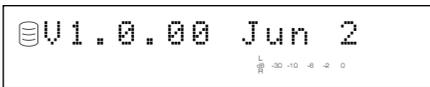


4. もう一度MULTI JOGノブを押すと(リモコンではENTERボタンを押すと)、ファームウェアのバージョン情報がディスプレイに表示されます。

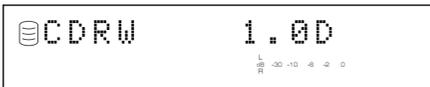


MULTI JOGを回すと(リモコンでは+、-ボタンを押すと)、システムのファームウェアバージョン→CDRドライブのファームウェアバージョン→HDDの種類順番で表示されます。

システムのファームウェアバージョン



CDRドライブのファームウェアバージョン



HDDの種類

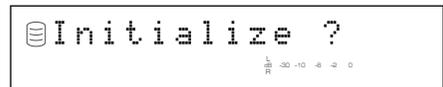


■ **各設定を初期設定に戻す (Initialize)**
各種メニュー等で、設定変更した項目を初期設定に戻します。

1. 停止状態でMENUボタンを押すと、ディスプレイがメニュー項目選択の表示になります。
2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、“Sys. Utility”を選択します。
3. MULTI JOGノブを押すと(リモコンではENTERボタンを押すと)、システムユーティリティ項目選択表示になります。
4. MULTI JOGノブを回して(リモコン+、-ボタンを押して)、“Initialize”を選択します。



5. MULTI JOGノブを押すと(リモコンではENTERボタンを押すと)、“Initialize?”と表示されます。

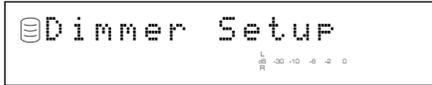


6. COMPLETEボタンを押します。
電源を入れたときの表示になり、各設定を初期設定値に戻します。

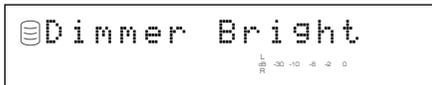
■ ディスプレイの明るさ設定(Dimmer Setup)

ディスプレイの明るさを設定します。

1. 停止状態でMENUボタンを押すと、ディスプレイがメニュー項目選択の表示になります。
2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、“Sys. Utility”を選択します。
3. MULTI JOGノブを押すと(リモコンではENTERボタンを押すと)、システムユーティリティ項目選択表示になります。
4. MULTI JOGノブを回して(リモコン+、-ボタンを押して)、“Dimmer Setup”を選択します。

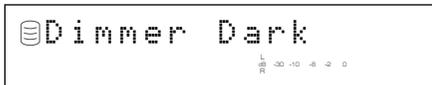
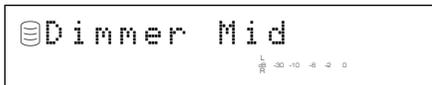
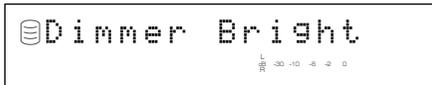


5. MULTI JOGノブを押すと(リモコンではENTERボタンを押すと)、現在の設定が表示されます。



(初期設定)

MULTI JOGノブを回すと(リモコンでは+、-ボタンを押すと)、表示と明るさが3段階で変わります。

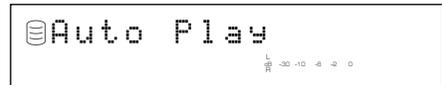


6. MULTI JOGノブを押すか(リモコンではENTERボタンを押すか)、COMPLETEボタンを押します。
これで、ディスプレイの明るさが設定されます。

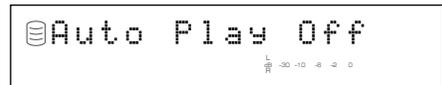
■ オートブレイの設定(Auto Play)

本機の電源が入ると、自動的に再生を始めるオートブレイ機能を設定します。

1. 停止状態でMENUボタンを押すと、ディスプレイがメニュー項目選択の表示になります。
2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、“Sys. Utility”を選択します。
3. MULTI JOGノブを押すと(リモコンではENTERボタンを押すと)、システムユーティリティ項目選択表示になります。
4. MULTI JOGノブを回して(リモコン+、-ボタンを押して)、“Auto Play”を選択します。



5. MULTI JOGノブを押すと(リモコンではENTERボタンを押すと)、現在の設定が表示されます。



(初期設定)

MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、“Auto Play On”を選択します。

6. MULTI JOGノブを押すか(リモコンではENTERボタンを押すか)、COMPLETEボタンを押します。
これで、オートブレイがオンに設定され、次に電源を入れたときに適用されます。
 - 電源を切ったときに、選択されていたドライブを再生します。
 - 電源を切ったときに、ランダム再生やリピート再生が設定されていた場合、その設定が適用されます。

メモ

- 初期設定は、“Auto Play Off”になっています。

■ ファームウェアの更新(Firm. Update)

将来の機能拡張に備えて用意されたメニューです。

DAC(デジタル/アナログ変換)モードについて

本機にはDACモード機能があります。この機能を使うと、入力セレクターのように、入力信号を切り替えて、アナログ/デジタル両出力端子から接続先のアンプに出力することができます。

1. 停止状態でMENUボタンを押すと、ディスプレイがメニュー項目選択の表示になります。
2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、“DAC mode”を選択します。



3. MULTI JOGノブを押すと(リモコンではENTERボタンを押すと)、DACモードに入ります。
4. INPUTボタンで選択した入力ソースが、アナログ/デジタル両出力端子から出力されます。
 - OPTICAL、COAXIALを選択しているときは、MULTI JOGノブがボリュームツマミとして機能します。
 - ANALOGを選択しているときは、ANALOG REC LEVELツマミがボリュームツマミとして機能します。
5. 以下の操作でDACモードは解除され、操作に応じた通常動作になります。
 - ▷/⏮ボタン(リモコンでは▷ボタン)を押すと、DACモードに入る前に選択していたドライブを再生します。
 - □ボタンを押すと、停止状態になります。
 - COMPLETEボタンを押すと、停止状態になります。

メッセージ表示一覧

Can't Copy

SCMSの規定により、デジタルによる録音またはコピーが禁止される場合に約3秒間表示されます。
詳しくはP.11「デジタル録音のルールとシステムについて」を参照ください。

Can't Edit

トラック編集やディスク編集を行う際、システムの制約上、編集ができない項目を選択した場合に表示されます。

Change Discs!

CDのDuplicate時、CDからHDDへのコピーのステップが終了すると、録音用のディスクへの交換を促すため、このメッセージが表示されます。

Check Disc

本機に入れたディスクが正規のものでなかったり、動作中何らかのエラーが生じた場合に表示されます。ディスクを確認のうえ、必要に応じてディスクを交換してください。

Data Track

データが記録されているトラックを再生しようとした際に表示されます。

Disc Full

CD-RまたはCD-RWで、すでにディスクの録音可能時間いっぱいまで録音されていて、これ以上録音できない場合に表示されます。

Disc No.Full

HDDに記録できる最大ディスク数は999なので、これを超過してディスクを作ろうとした際に表示されます。

Erasing

CD-RWの各種消去中に表示されます。進行状況の目安がレベルメーター上に表示されます。

Finalize OK?

ディスクをファイナライズする時に、確認のため表示されます。ファイナライズする場合は▶/⏪ボタン(リモコンでは▶ボタン)を押してください。

Finalizing

ファイナライズ中に点滅表示されます。進行状況の目安がレベルメーター上に表示されます。

HDD Full

HDDで、すでにHDDの録音可能時間いっぱいまで録音されていて、これ以上録音できない場合に表示されます。

New Disc

新品のCD-RまたはCD-RWを本機に入れたときや、ディスク消去、全曲消去したCD-RWを本機に入れたときに表示されます。

No data

HDD上に録音されている曲(データ)が全くない場合、状態で表示されます。

No Enough Spc

コピーを行う際、コピー先の容量が不足したり、トラックナンバーがいっぱいになる場合に表示されます。あるいは、HDDへマルチシンクロ録音または全曲シンクロ録音を行っている場合、録音先のディスクの既録音時間が最大時間を超過则表示されます。

No Previous

トラック編集メニューの"Track Adjust"を行う際、移動しようとするトラックのひとつ前のトラックが見当たらない場合に表示されません。

No Source

HDDからCD-RまたはCD-RWへコピーを行う際、HDD上に録音されているものが全くない場合に表示されます。

Not Audio

オーディオ用ではない、PC用などのディスクを本機に入れ、録音を行なおうとした際に表示されます。

No Undo Data

アンドゥ処理に入る際、その処理ができない場合に表示されます。

OPC Adjust

録音用ディスクの記録面の反射に対して、本機のレーザーの強さを調節している間、表示されます。調節には通常約15秒かかりますが、ディスクの種類によってはこの時間が長くなる場合があります。

Pack Before !

トラック編集やディスク編集を行う際、Packを行わないと編集ができない項目を選択した場合に表示されます。

Reading

トレイの中に入れたディスクの情報を読み取る間、表示されます。読み取りには通常約10~15秒かかりますが、ディスクの種類によってはこの時間が長くなる場合があります。

Standby

CD-RまたはCD-RWに録音する際、RECボタンを押すとしばらくの間点滅します。

TEXT Save?

コピー可能なディスクタイトル、トラックタイトル、アルバムタイトルを含むデータをCD-RまたはCD-RWにコピーした場合、ファイナライズを行わずにディスクトレイを開けようすると表示されます。

Track No.Full

ひとつのディスクに記録できる最大トラック数は99なので、これを超過してトラックを作ろうとした際に表示されます。

Unrecordable

CD-RまたはCD-RWへ録音またはコピーを行う際、それが録音可能なディスクでない場合、あるいはHDDへ録音またはコピーを行う際、HDDの容量がいっぱいで、これ以上記録できない場合に表示されます。

Wait

CD-RまたはCD-RWに録音する際、▶ボタンを押して停止すると、ディスク情報をPMA(Program Memory Area)に書き込みます。書き込みの間、この表示が点滅します。またはHDD上のデータを処理している間、この表示が点滅します。

故障かな？と思ったら

本機をご使用中に正常に動作しなくなったときは、下記の事項をご確認ください。

その上で正常に動作しない、あるいは下記以外で何か異常が認められた場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点宛、お問い合わせ、サービスをご依頼ください。

症状	原因	対応のしかた
POWERスイッチを押しても電源が入らない。	電源プラグの差し込みが不完全。	電源プラグをコンセントにしっかり差し込み直してください。
CD再生時、ディスクを入れても再生できない。	レーザーピックアップのレンズが結露している。	電源を切り、約20～30分経ってから、電源を入れ直して再生を始めてください。
	ディスクが裏がえしにセットされている。	ディスクのレーベル面を上にして入れてください。
	ディスクがひどく汚れている。	クリーニングしてください。
CDの再生が始まるのに時間がかかる。違った場所から再生が始まる。	ディスクに傷がある、または壊れている。	ディスクを確認してください。ディスクを交換してください。
録音・コピーができない。	ディスクがファイナライズされている。	ファイナライズ前の録音可能なディスクを入れてください。
	すでに録音が完了しているディスクを入れた。	録音可能なディスクを入れてください。
	INPUTボタンの位置が適切でない。	INPUTボタンを入力信号に合った位置にしてください。
	デジタルコピーしたソースをデジタルで録音またはコピーしようとしている。	録音するにはアナログに切り替える。
	ディスクに録音可能な残り時間が足りない、またはすでに99曲録音されている。	録音可能なディスクと交換してください。(CD-R、CD-RW) 他のディスクを選択してください。(HDD)
	HDDの残量がなくなっている。	不要なものを消去して、Packを行い、HDD上にスペースを確保する。
	録音中に電源コードがはずれたり、電源が切れて、録音したものが消失した。	CD-Rの場合は、ディスクを交換して、CD-RWの場合は、最初から録音し直してください。
	ディスクが汚れている、または壊れている。	ディスクをクリーニング、またはディスクを交換してください。
コピー時に振動や、大きな回転音がる。	本機はディスクを高速回転させて、コピーを行います。	コピー速度を落として、コピーを行ってください。
ひとつのディスクに100分以上の連続録音ができない。(HDD)	ひとつのディスクの最大録音時間は99分59秒です。	マニュアル録音、オートピリオド録音を行うと、次のディスクに連続して録音されます。
デジタル接続したアンプで曲の始まりの部分が途切れる。	エンファシスの異なったソースを録音したトラックを再生している。	本機のアナログ出力端子を使用してアンプに接続してください。
ディスクが切り替わる際に、音が途切れる。	ディスクをまたいで録音した部分を再生中、ディスプレイがタイトル表示になっている。	TEXT/TIMEボタンを押して、時間表示に切り替えてください。
録音したCD-RやCD-RWが、本機以外のCDプレーヤーやDVDプレーヤーで再生できない。	お使いのCDプレーヤーやDVDプレーヤーがCD-RまたはCD-RWに対応していない。	CD-RまたはCD-RWに対応しているCDプレーヤーやDVDプレーヤーをご使用ください。
	ディスクがファイナライズされていない。	ディスクをファイナライズしてください。
音飛びがする。	本機またはソース側の機器が振動やショックを受けている。	設置場所を変えてください。 (何らかの振動やショックによって、すでにソース自体が正しく録音されていない場合を除く。)
	ディスクがひどく汚れている。	クリーニングしてください。
ブーンというハム音がる。	接続が正しく行なわれていない。	オーディオコードをしっかりと接続してください。オーディオコードを交換してください。
正常に動作しない。	内部マイコンの動作が停止している。	電源を切り、1分以上経ってから、電源を入れ直してください。

症状	原因	対応のしかた
リモコンで操作できない。	リモコンの乾電池が消耗している。	2本とも新しい乾電池に交換してください。
	本機から遠いところでリモコン操作している。 受光部に向けてリモコン操作していない。	リモコン受光部から6m、60度の範囲内でリモコン操作してください。
	受光部に強い日光や照明(インバータ蛍光灯など)が当たっている。	リモコン受光部に強い光が当たらないように本機の設置場所や方向、または照明の位置を工夫してください。
リモコンを使うとテレビが正常に機能しない。	リモコン受光部の付いているテレビの近くでリモコンを使用している。	本機をテレビから離れた場所に設置してください。テレビのリモコン受光部を隠してください。
テレビの画像が乱れる。	室内アンテナを使用している。	屋外アンテナを使用するか、テレビと離して設置してください。

仕様

■ オーディオ部

周波数特性	5~20,000 Hz、±0.5 dB
S/N比(EIAJ)	
再生	105 dB
録音	92 dB
高周波歪率(1 kHz)	
再生	0.004 %
録音	0.006 %
ダイナミックレンジ	
再生	99 dB
録音	93 dB

■ 入力端子

アナログ入力(REC)端子	
形状	ピンジャック
標準入力レベル	500 mV/24 kΩ
デジタル入力(OPTICAL)端子	
形状	光端子
デジタル入力(COAXIAL)端子	
形状	同軸
標準入力レベル	0.5 Vp-p(75 Ω)

■ 出力端子

アナログ出力(PLAY)端子	
形状	ピンジャック
標準出力レベル(1 kHz、0 dB)	2.0 ± 0.5 Vrms
デジタル出力(OPTICAL)端子	
形状	光端子
デジタル出力(COAXIAL)端子	
形状	同軸
標準出力レベル	0.5 Vp-p(75 Ω)
PHONES端子	
標準出力レベル(150 Ω、-20 dB)	300 mV/150 Ω

■ 一般

電源	AC 100V、50/60 Hz
消費電力	28 W
外形寸法(幅×高さ×奥行)	435×115.5×414.5 mm
重量	8.3 kg
付属品	オーディオコード(2本) 光ファイバーケーブル リモコン 単三型乾電池(2本)
動作環境	
温度	+5~35℃
湿度	30~90 %RH(結露ないこと)

仕様および外観は改良のため変更することがあります。



これは電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用いただけるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

- **保証期間**
お買上げ日より1年間です。
- **保証期間中の修理**
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- **保証期間が過ぎているとき**
修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。
- **修理料金の仕組み**
 - ◆ **技術料** 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
 - ◆ **部品代** 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
 - ◆ **出張料** 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
- **補修用性能部品の最低保有期間**
補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年(テープデッキは6年)です。この期間は通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- **持ち込み修理のお願い**
故障の場合、お買上げ店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお持ちください。
- **製品の状態は詳しく**
サービスをご依頼なさるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。
※ 品番、製造番号はAV製品の背面もしくは底面に表示してあります。

- **スピーカーの修理**
スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。
- **摩耗部品の交換について**
本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをお勧めします。摩耗部品の交換は必ずお買上げ店、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

摩耗部品の一例

ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※ このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

■ ヤマハAV製品の機能や取扱いに関するお問い合わせは

お客様ご相談センター

TEL (0570) 01 - 1808 (ナビダイヤル)

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHSからは下記番号におかけください。

TEL (053) 460 - 3409

FAX (053) 460 - 2777

住所 〒430-8650

静岡県浜松市中沢町 10-1

ご相談受付時間 10:00~12:00, 13:00~18:00
(土・日・祝日及び弊社が定めた日は休業とさせていただきます)
すのであらかじめご了承ください。)

■ ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせは

(ヤマハ電気音響製品サービス拠点)

北海道 〒064-8543 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内
TEL (011) 512 - 6108

仙台 〒984-0015 仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F
TEL (022) 236 - 0249

首都圏 〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1番1号
京浜トラックターミナル内14号棟A-5F
TEL (03) 5762 - 2121

浜松 〒435-0016 浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場内
TEL (053) 465 - 6711

名古屋 〒454-0058 名古屋市中川区玉川町2-1-2
ヤマハ(株)名古屋流通センター3F
TEL (052) 652 - 2230

大阪 〒565-0803 吹田市新芦屋下1-16
ヤマハ(株)千里丘センター内
TEL (06) 6877 - 5262

広島 〒731-0113 広島市安佐南区西原6-14-14
TEL (082) 874 - 3787

四国 〒760-0029 高松市丸亀町8-7
(株)ヤマハミュージック神戸 高松店内
TEL (087) 822 - 3045

九州 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL (092) 472 - 2134

愛情点検



★永年ご使用のAV製品の点検を!

こんな症状はありませんか?

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズが変形がある。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。



ヤマハ株式会社

〒430-8650 浜松市中沢町10-1

ヤマハオーディオ&ビジュアルホームページ
<http://www.yamaha.co.jp/audio/>